

国道2号防府山口市域道路整備検討会（第2回）

議事概要

1. 日 時：令和4年9月13日（火）14:30～15:20

2. 場 所：山口県庁 13F 企業局第1会議室

3. 構成員（出席者）

国土交通省 中国地方整備局 道路部 道路計画課長

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所長

山口県 土木建築部 道路建設課長

山口県 土木建築部 都市計画課長

山口市 都市整備部長（代理 都市整備部次長）

防府市 土木都市建設部長

4. 議 事

○現状の課題

○地域の将来像、期待される整備効果

○地域への意見聴取方法

5. 議事概要

○山口県防府・山口市域において、国道2号は生活・産業を支えるだけでなく、防災・救急・観光面でも重要な社会基盤である。

○「現状の課題」、「地域の将来像」、「期待される整備効果」について確認するとともに、政策目標（案）として、「交通の円滑化」、「産業の活性化」、「救急医療への速達性・確実性の確保」、「災害等に強い信頼性の高い道路ネットワークの確保」、「交通安全の確保」、「観光振興の促進」の6点を整理。

○今後、地域との合意形成に向け、山口市、防府市の両市において広報活動を強化し幅広く周知を行った上で、地域や企業等の意見についてアンケート等を通じて確認し、整備方針の決定に向け検討を進めていくことを確認。



第2回 国道2号防府山口市域道路整備検討会

議事次第

日時：令和4年9月13日（火）14：30～

場所：山口県庁 13F 企業局第1会議室

1. 開会

2. 議事

（1）現状の課題

（2）地域の将来像、期待される整備効果

（3）地域への意見聴取方法

3. 閉会

第2回 国道2号防府山口市域道路整備検討会 出席者名簿

令和4年9月13日(火) 14:30～
山口県庁 13階 企業局第1会議室

国土交通省 中国地方整備局			
道路部 道路計画課	課長	北城 崇史	
	係長	嶋谷 健一朗	
山口河川国道事務所 計画課	所長	山田 直也	
	課長	和田 康正	事務局
	専門調査官	山根 裕市	事務局
	専門職	笹永 修司	事務局

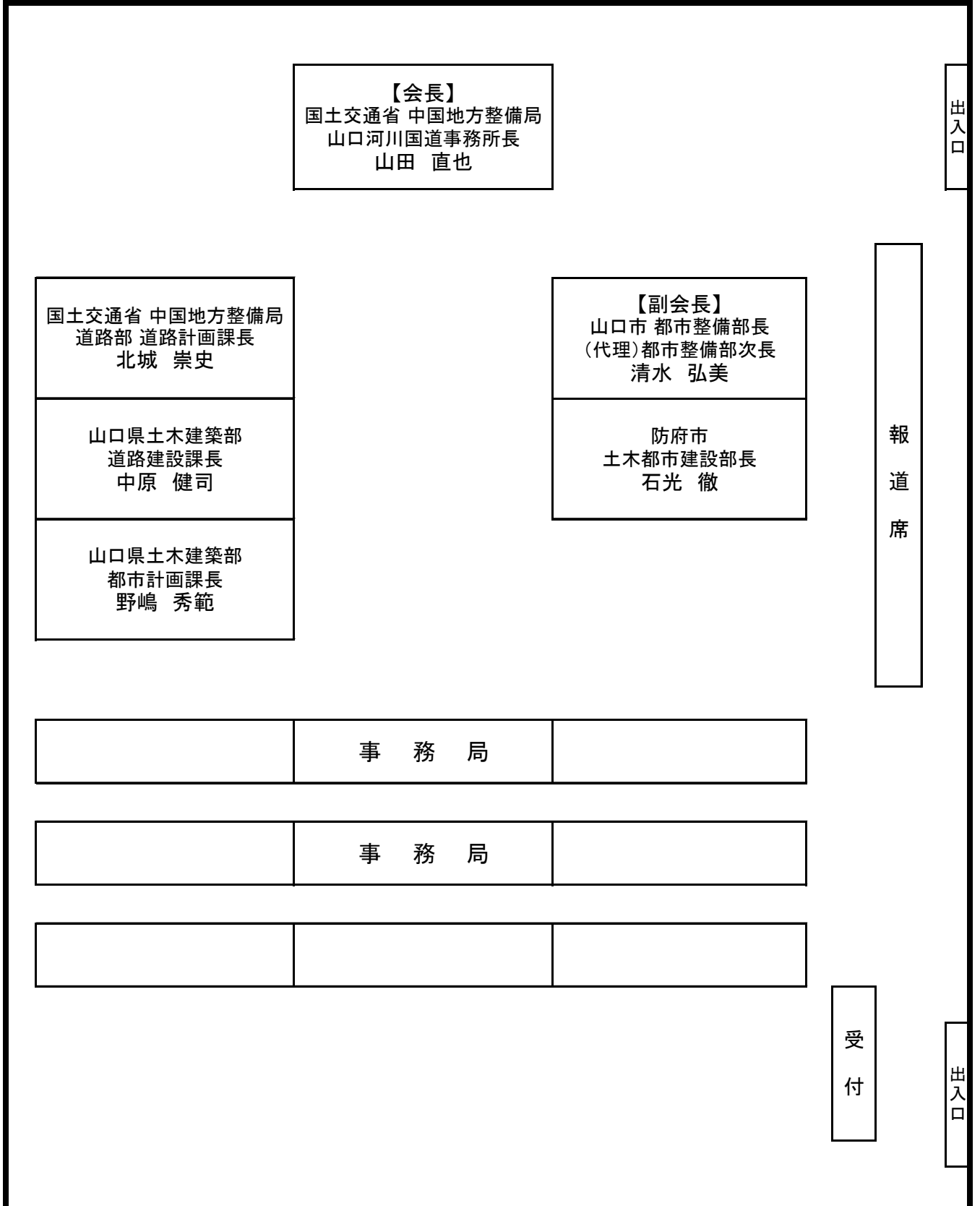
山口県			
土木建築部 道路建設課	課長	中原 健司	
	主幹	中村 昌文	事務局
	主査	中村 好希	事務局
	主査	岩本 智成	事務局
土木建築部 都市計画課	課長	野嶋 秀範	
	主幹	福田 将之	

山口市			
都市整備部 河川道路建設課	部長	原田 浩司	代理:部次長 清水弘美
	課長	田中 秀実	事務局
	主幹	松永 佳之	事務局

防府市			
土木都市建設部 道路課	部長	石光 徹	
	課長	澁谷 勝彦	事務局
	参与	友景 康浩	事務局
	主任	田中 優希	事務局

第2回 国道2号防府山口市域道路整備検討会 配席表

令和4年9月13日(火) 14:30～
山口県庁 13階 企業局第1会議室



国道2号防府山口市域道路整備検討会 規約

(名 称)

第1条 本会は、「国道2号防府山口市域道路整備検討会」（以下検討会という）と称す。

(目 的)

第2条 検討会は、山口県防府・山口市域の現状の課題や地域の将来像等を踏まえ、国道2号台道拡幅未整備区間の整備方針を検討することを目的とする。

(所掌事務)

第3条 検討会は、山口県防府・山口市域における、次の項目について調査検討を行う。

- (1) 現状の課題について
- (2) 地域の将来像について
- (3) 必要性・整備効果について
- (4) 課題を解決するための対策案について
- (5) 地域との合意形成について
- (6) その他上記の検討に必要なこと

(組 織)

第4条 検討会は、別表に掲げる委員により構成するものとする。

(役 員)

第5条 検討会に、会長・副会長を置く。

- 2 会長は、検討会を代表し会務を総括する。
- 3 会長は、委員の互選により選出する。
- 4 副会長は会長が指名する。
- 5 副会長は会長を補佐し、会長が職務を遂行できない場合はその職務を代行する。

(任 期)

第6条 任期は、検討会設立時から検討会における検討が終了し、検討会が解散されるまでの期間とする。

(運 営)

第7条 検討会は、必要に応じて会長が招集する。

- 2 会長は、必要に応じて検討会に関係者の出席を要請できるものとする。
- 3 検討会の運営、進行は、会長がそれにあたる。

(事務局)

第8条 事務局は、国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所計画課、山口県土木建築部道路建設課、山口市都市整備部道路河川建設課及び防府市土木都市建設部道路課に置く。

(その他)

第9条 この規約に定めのない事項、疑義が生じた場合は、検討会の承認を得て定めるものとする。

附則 この規約は、令和4年 3月28日から施行する。

(別表)

国道2号防府山口市域道路整備検討会

委員名簿

国土交通省 中国地方整備局 道路部 道路計画課長

◎国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所長

山口県 土木建築部 道路建設課長

山口県 土木建築部 都市計画課長

○山口市 都市整備部長

防府市 土木都市建設部長

◎ : 会長 ○ : 副会長

(参考)

国道2号防府山口市域道路整備検討会 の役割分担

[目的]

山口県防府・山口市域の現状の課題や地域の将来像等をふまえ、国道2号台道
拡幅未整備区間の整備方針について検討を行う。

[委員]

国土交通省 中国地方整備局 道路部 道路計画課長

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所長

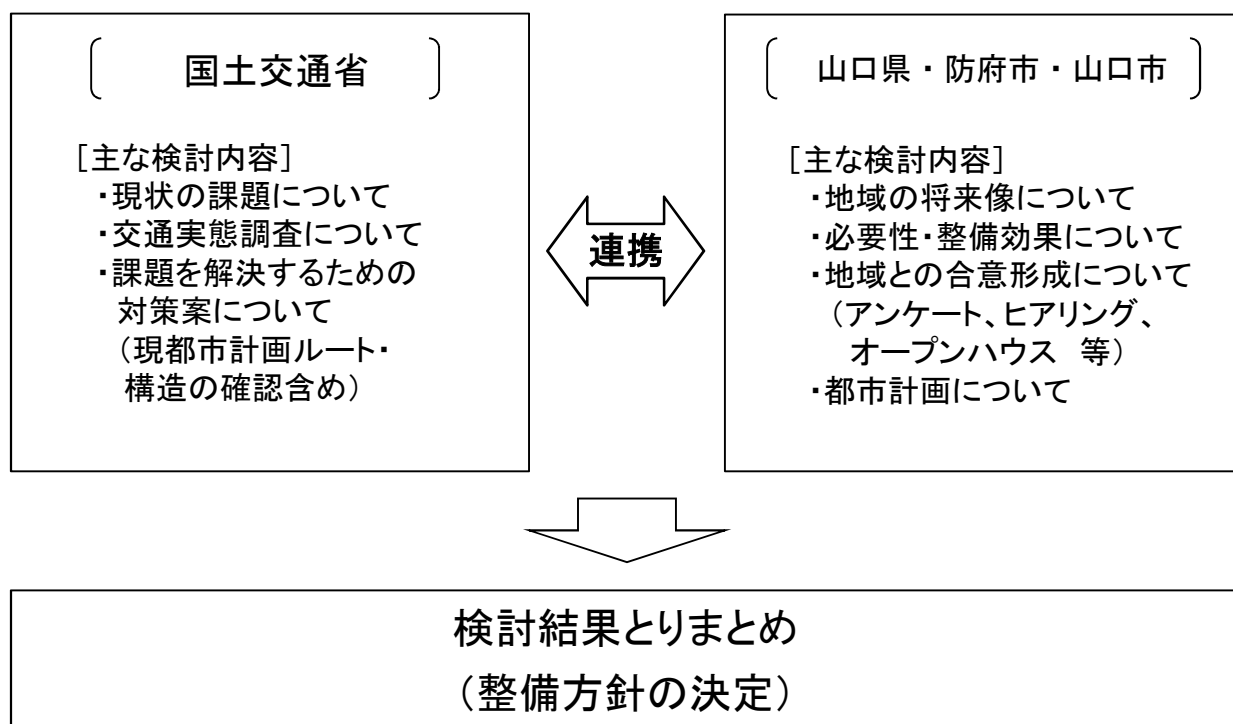
山口県 土木建築部 道路建設課長

山口県 土木建築部 都市計画課長

防府市 土木都市建設部長

山口市 都市整備部長

[検討体制]



第2回 国道2号防府山口市域道路整備検討会 説明資料 (現状の課題について)

令和4年9月13日

国土交通省 中国地方整備局

1. 地域の状況

- (1) 人口
- (2) 通勤・通学
- (3) 産業
- (4) 防災計画
- (5) 救急医療
- (6) 観光

2. 道路の状況

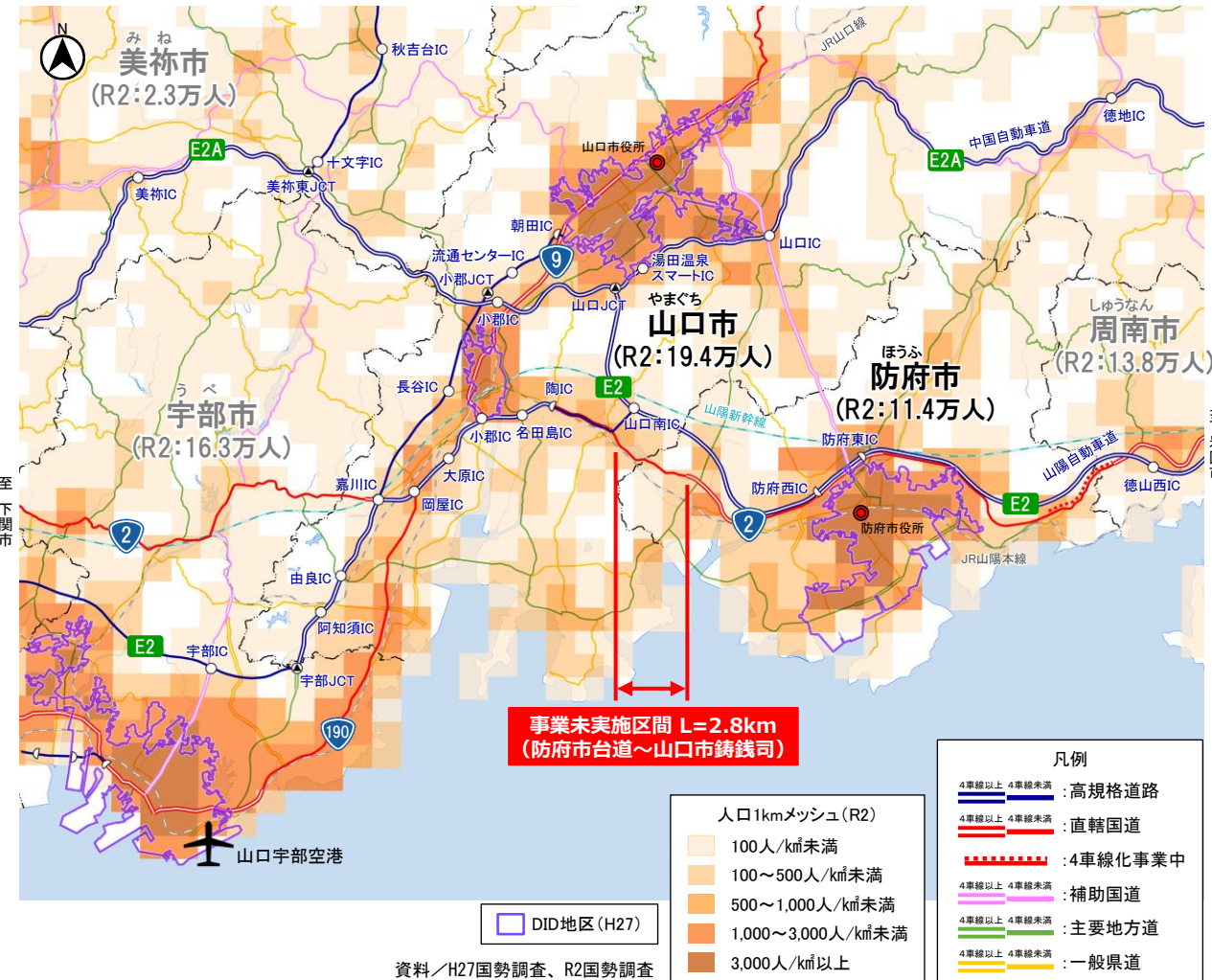
- (1) 位置図
- (2) 交通状況
- (3) 混雑状況
- (4) 交通事故発生状況
- (5) 交通事故等による交通規制
- (6) 道路構造・線形等の課題
- (7) 山陽自動車道の交通規制による影響

1. 地域の状況

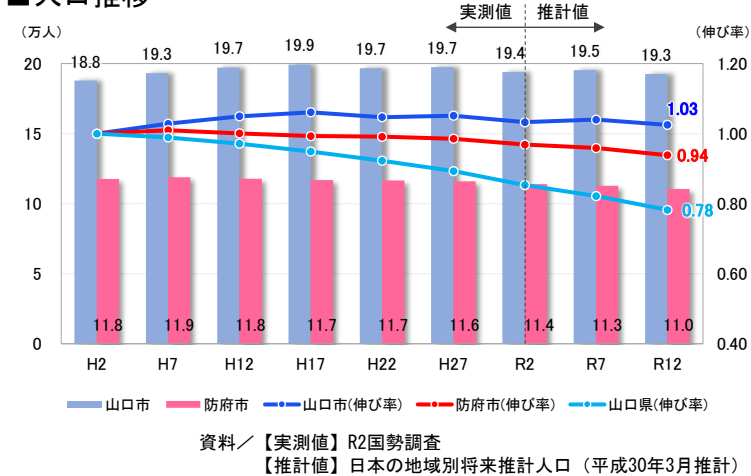
(1)人口

- 国道沿線及び各市の中心部に人口が集中している。
- 防府市及び山口市の人口はほぼ横ばいであるが、今後は山口県全体よりも緩やかに減少していくことが想定されている。
- 防府市及び山口市の高齢化率は、山口県全体と比較して進展は遅いものの増加傾向にあり、生産年齢人口の減少が懸念される。

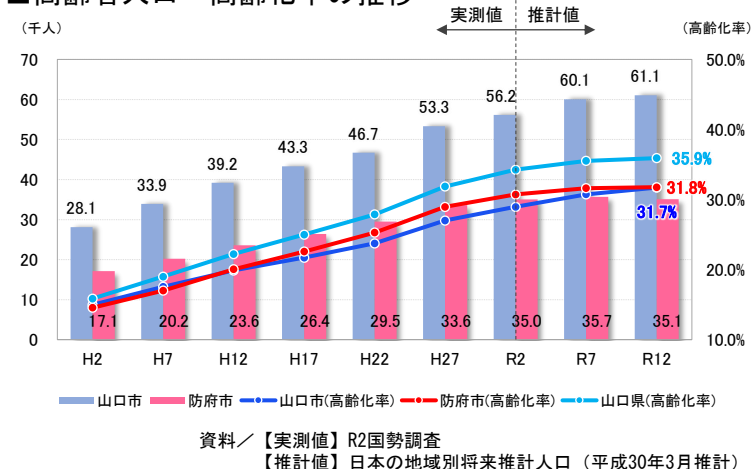
■人口分布



■人口推移



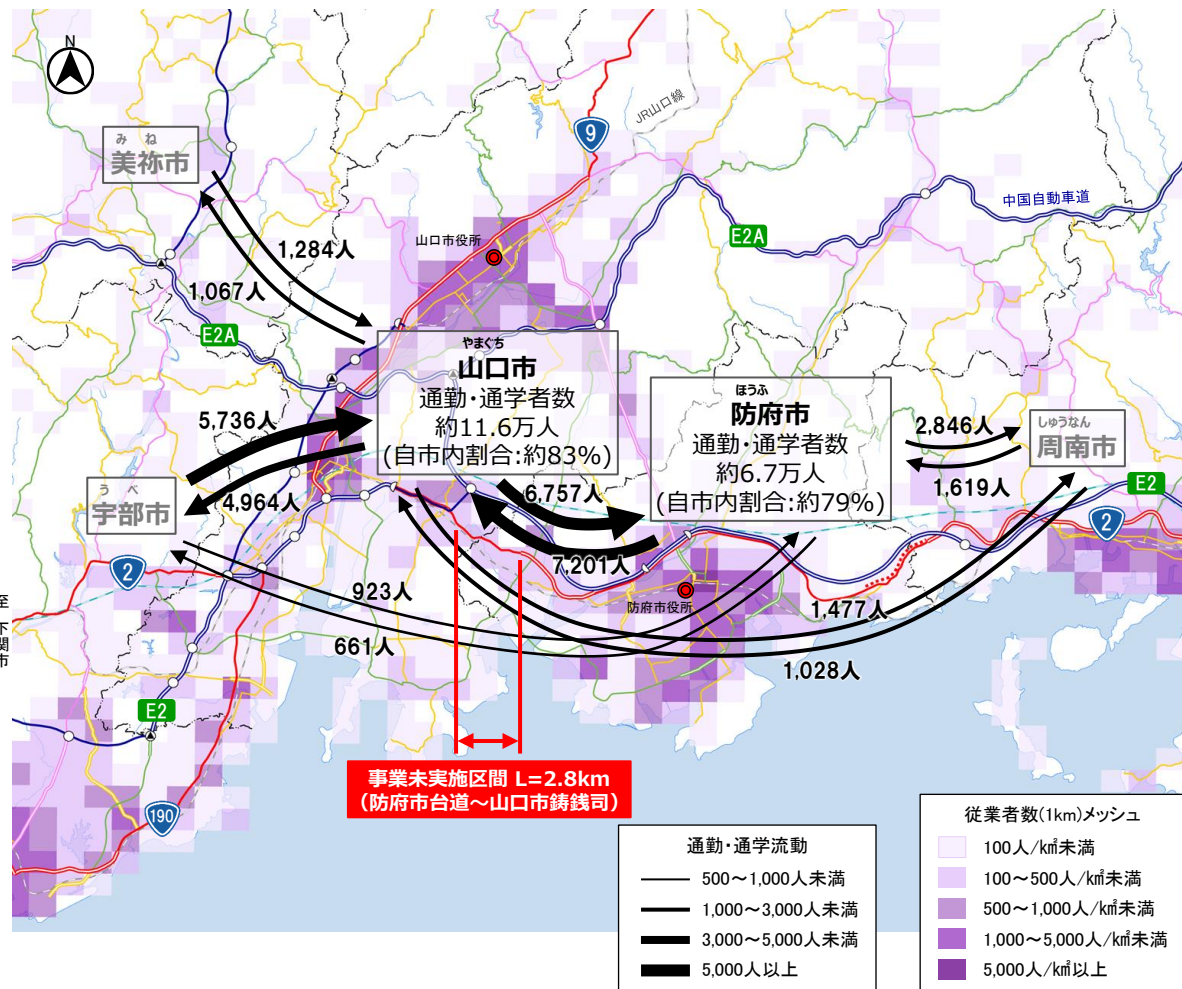
■高齢者人口・高齢化率の推移



(2)通勤・通学

- 防府市～山口市間の通勤・通学流動は約14,000人であり、両市の結びつきが強い。
- 防府市⇄他市町村の約7～8割を山口市以西、山口市⇄他市町村の約4～5割を防府市以東が占めている。
- 防府市及び山口市の利用交通手段は自家用車が多く、約9割を占めている。

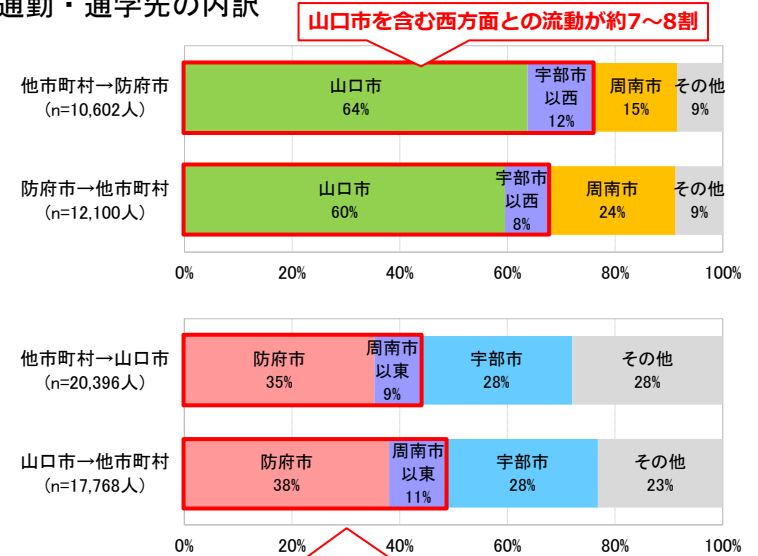
■従業者人口分布および通勤・通学流動



資料/R2国勢調査

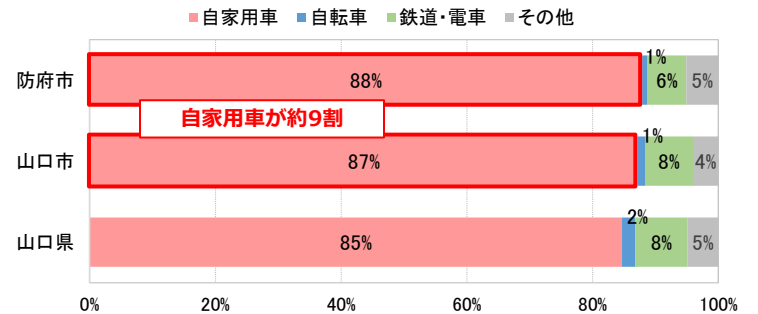
資料/H28経済センサス-活動調査

■通勤・通学先の内訳



防府市を含む東方面との流動が約4～5割
 ※自市内及び不詳は除く
 資料/R2国勢調査

■利用交通手段



※他市区町村への通勤・通学時。徒歩のみ・利用交通手段が1種類を集計

資料/R2国勢調査

(3) 産業

- 周辺に多くの工業団地が立地しており、現在造成中の鑄銭司第二団地はR5春に完成予定で、約300人の雇用創出が見込まれている。
- 防府市の製造品出荷額等は県内第二位で、中国地方を代表する自動車メーカー「マツダ」の工場が立地しており、山口市の関連企業等から部品供給が行われている。

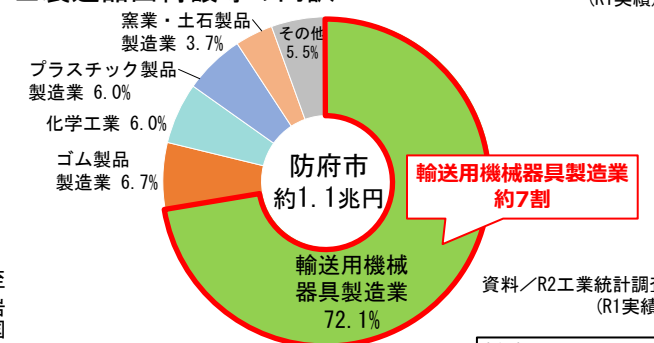
■工業団地の立地状況



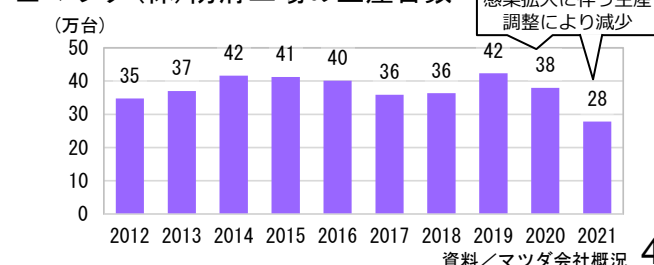
■市町村別製造品出荷額等



■製造品出荷額等の内訳



■マツダ(株)防府工場の生産台数

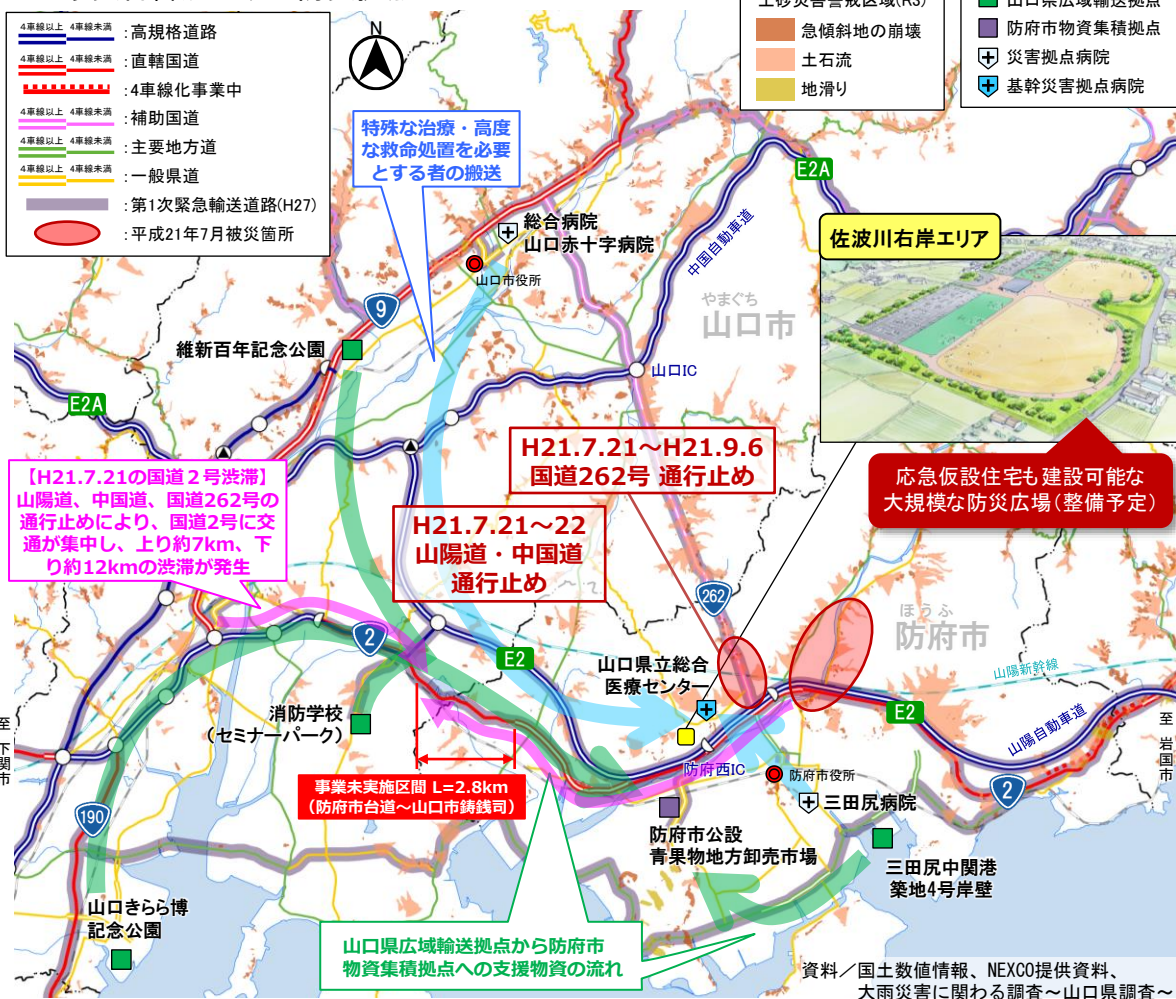


1. 地域の状況

(4) 防災計画

- 対象区間周辺には、広域防災広場が整備予定で、県の広域輸送拠点や市の物資集積拠点、基幹災害拠点病院等が位置しており、災害時における物資の輸送や救急搬送において安全かつ円滑な移動が求められる。
- 平成21年7月豪雨では土砂災害による大きな人的被害が生じるとともに、周辺の高速道路及び山口市と防府市を結ぶ幹線道路である国道262号通行止の影響により、国道2号に交通が集中し対象区間を起点とした激しい渋滞が発生する等、交通面でも大きな支障が生じた。

■土砂災害警戒区域・防災拠点

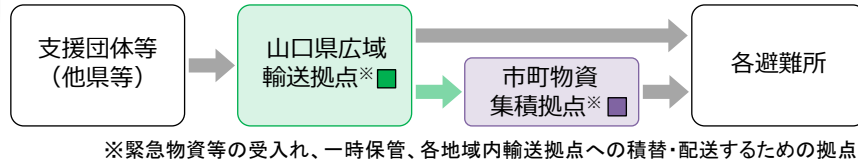


<平成21年7月21日豪雨災害>

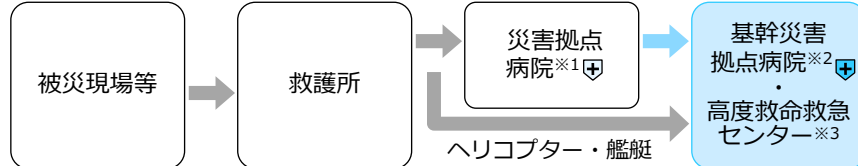
- 7月19日~21日総雨量
防府市…331.5mm
山口市…294.0mm
 - 道路の通行規制状況
山陽自動車道…7月21日~22日
中国自動車道…7月21日
国道262号…7月21日~9月6日
⇒**国道2号に交通が集中**
 - 人的被害状況
死者…22人
負傷者…35人
- 資料/山口県 災害教訓事例集、防災・災害記録、NEXCO提供資料



<支援物資の流れ>



<災害時における医療救護の流れ>



※1: 入院し本格的治療を必要とする者の受け入れ
 ※2: 特殊な治療・高度な救命処置を必要とする者の受け入れ/山口県立総合医療センター
 ※3: 国立大学法人山口大学医学部附属病院

(5) 救急医療

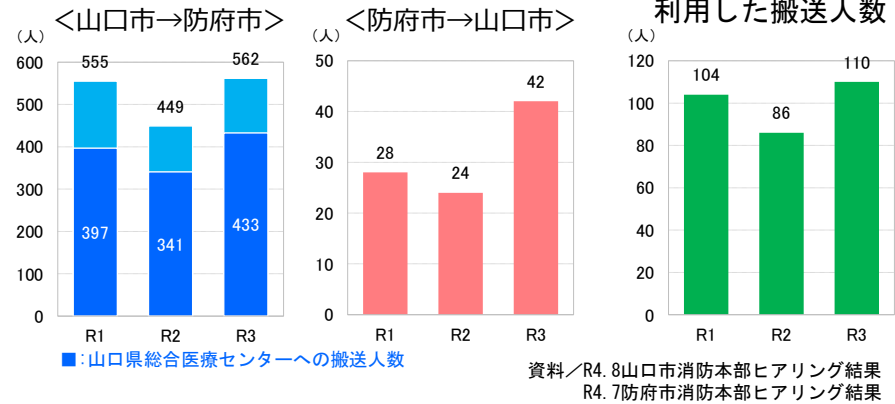
○ 山口市と防府市は山口・防府保健医療圏を構成しており、山口市から防府市へは約560人/年、防府市からは約40人/年が救急搬送されており、事業未実施区間を利用した搬送が約110人/年行われている。

○ 防府市に立地する山口県立総合医療センターは圏域で唯一の三次救急医療施設であり、山口市から約430人/年の救急搬送がある。

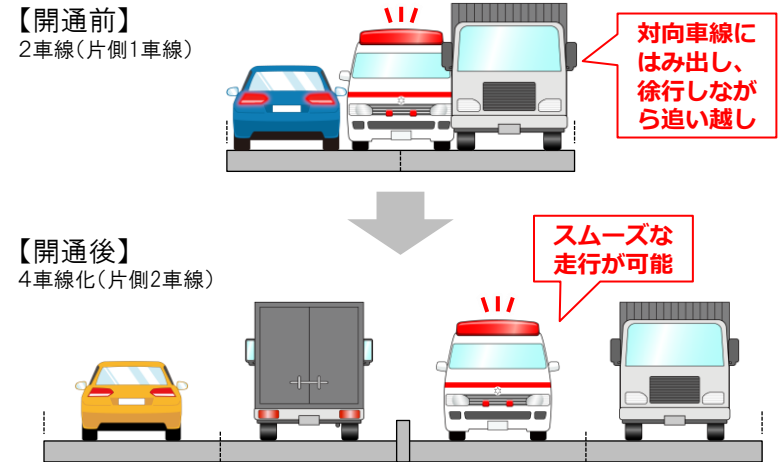
■ 救急医療施設の立地状況



■ 山口市⇄防府市の救急搬送人数



~ 救急車両の走行性改善イメージ ~



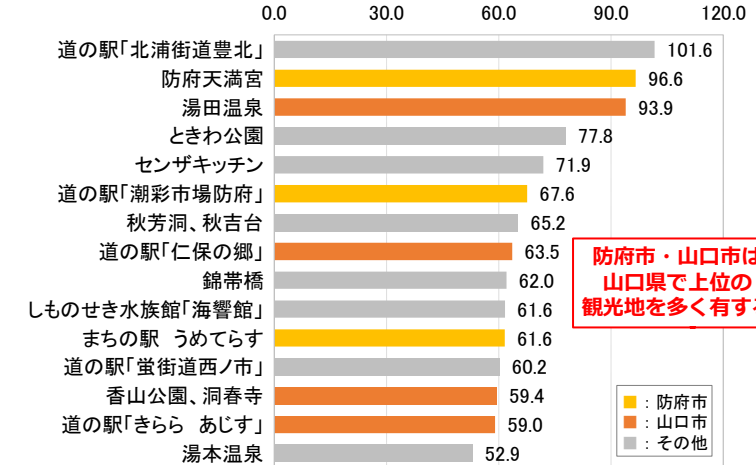
(6) 観光

- 防府市及び山口市には、山口県内観光客数第2位の防府天満宮をはじめとする観光客50万人以上の観光地が多く点在し、交通拠点である新幹線駅 新山口駅や周辺には山口宇部空港も立地している。
- 防府市は西方面からの来訪が約2割、山口市は東方面からの来訪が約7割と多くなっている。
- 観光客の利用交通手段は自家用車が最も多く約6～7割を占めている。その他、新幹線、JR(鉄道)、バス、飛行機の利用が多い。

■防府市・山口市の主な観光地



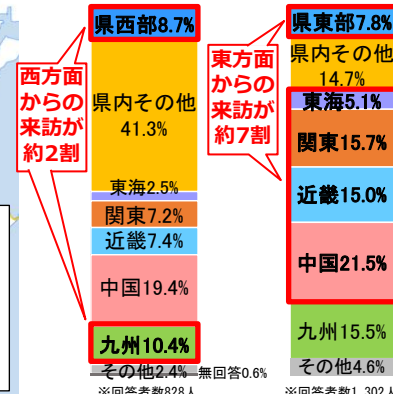
■山口県内主要観光地の観光客数トップ15 (万人)



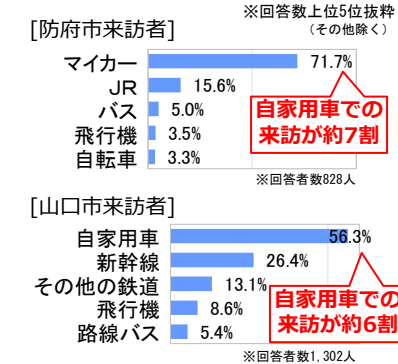
※具体的な名称が記載されている観光地を対象に集計 資料／山口県の宿泊者及び観光客の動向(R1)

■観光客の居住地

[防府市来訪者] [山口市来訪者]



■観光客の利用交通手段



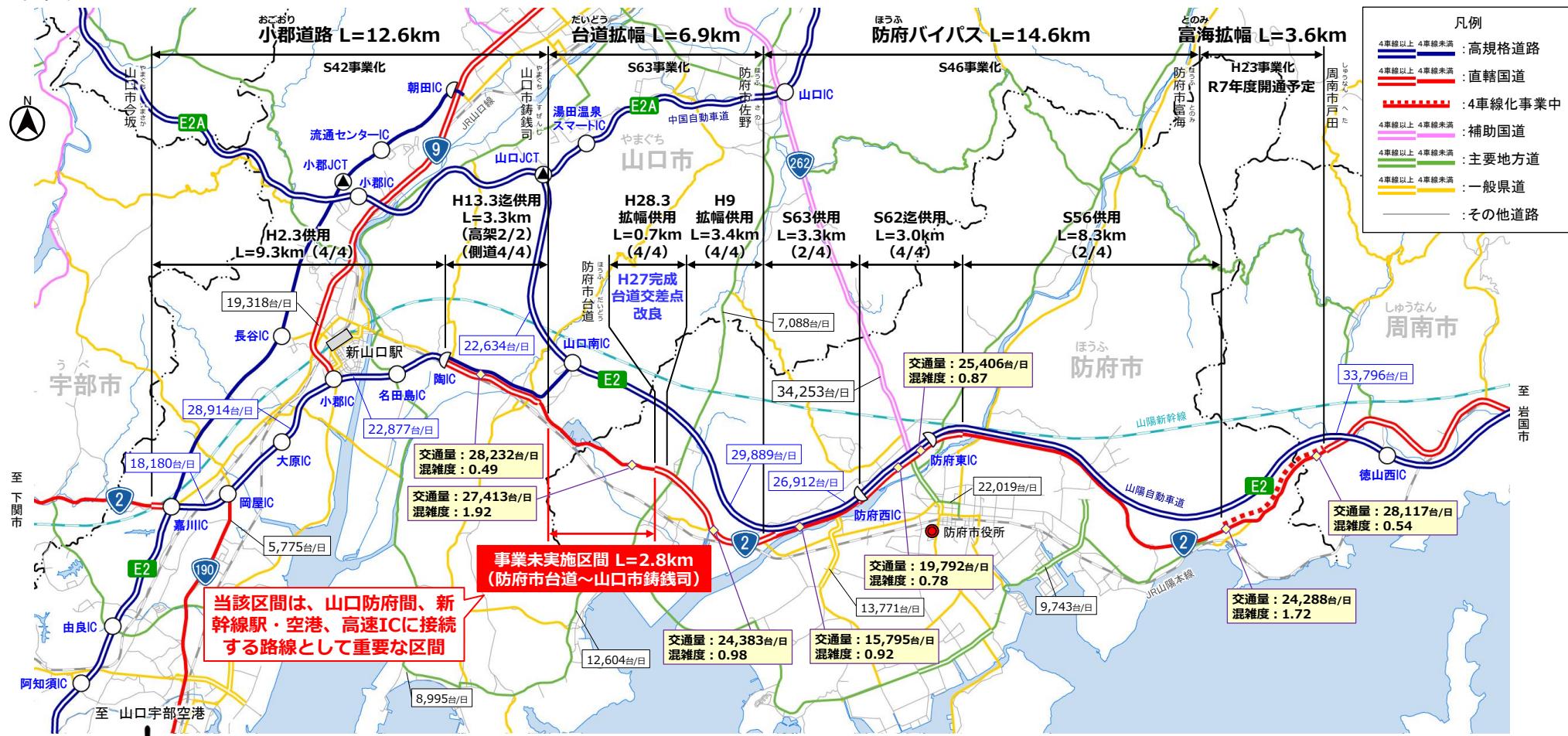
資料／防府市提供資料「うめてらすアンケート」及び2019年山口市観光動態アンケート調査集計・分析報告書を基に作成

2. 道路の状況

(1)位置図

- 防府市～山口市の国道2号は、防府バイパス、台道拡幅、小郡道路と順次整備を進めてきており、現在富海拡幅(L=3.6km)をR7年度開通に向け工事推進中である。
- 台道拡幅は、S63年度に事業化され、H9に防府市佐野～台道間(L=3.4km)部分供用。
- H23年度より台道交差点改良が進められ、H27年度に4車線化が完成。残る区間(L=2.8km)は4車線区間に挟まれた2車線区間である。

■位置図

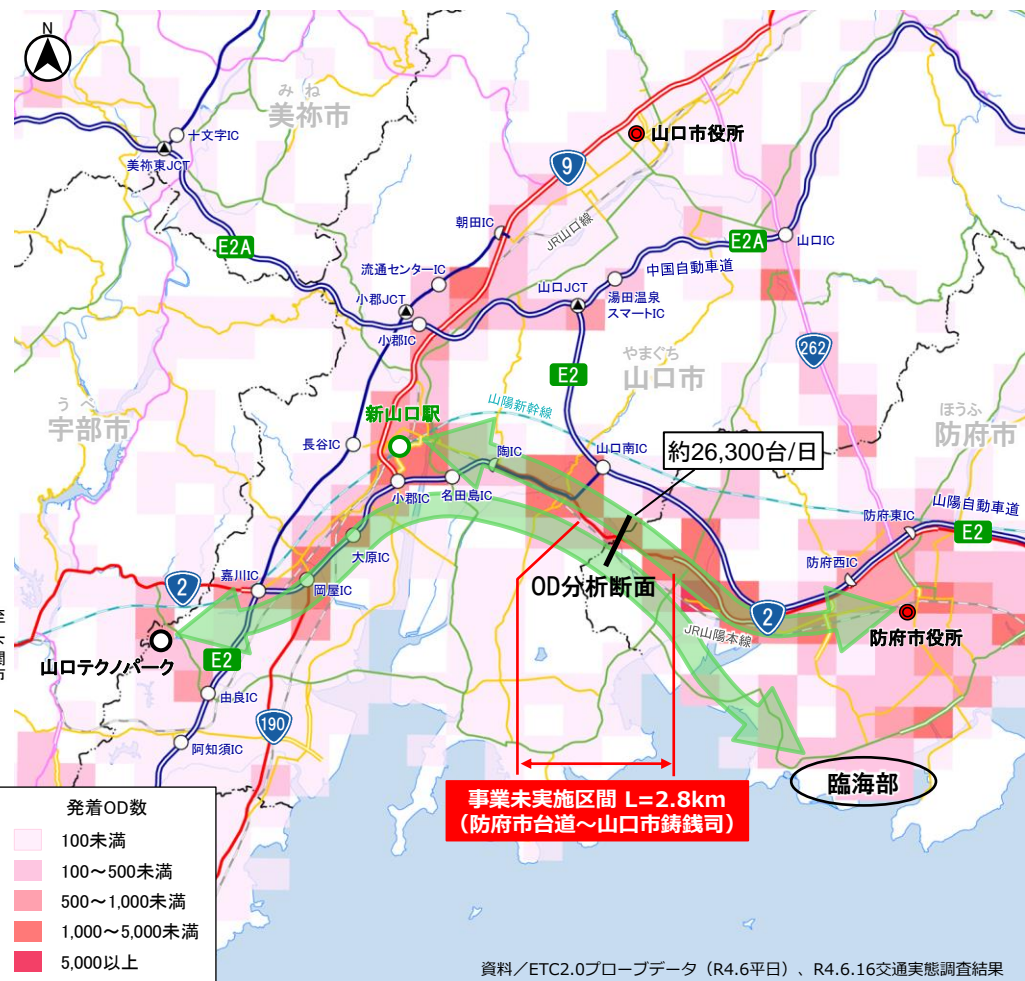


※交通量、混雑度はH27年度全国道路・街路交通情勢調査

(2)交通状況

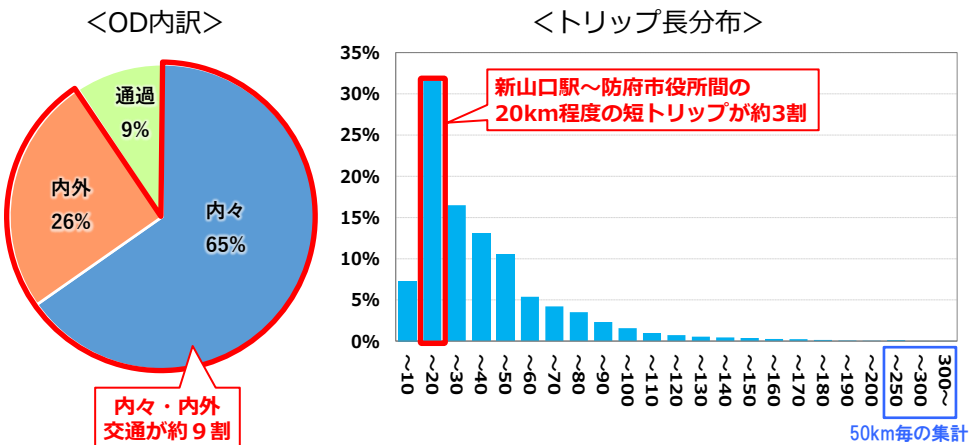
- 事業未実施区間を走行する車両は、新山口駅周辺～防府市役所周辺間の交通が多く、防府市の臨海部や山口テクノパーク等、産業拠点を発着する交通も多い。
- 事業未実施区間におけるOD内訳をみても、乗用車は内々・内外交通が約9割を占めるとともに、貨物車についても内々・内外交通が約6割を占め、沿線地域に係る交通も多い。

■OD特性

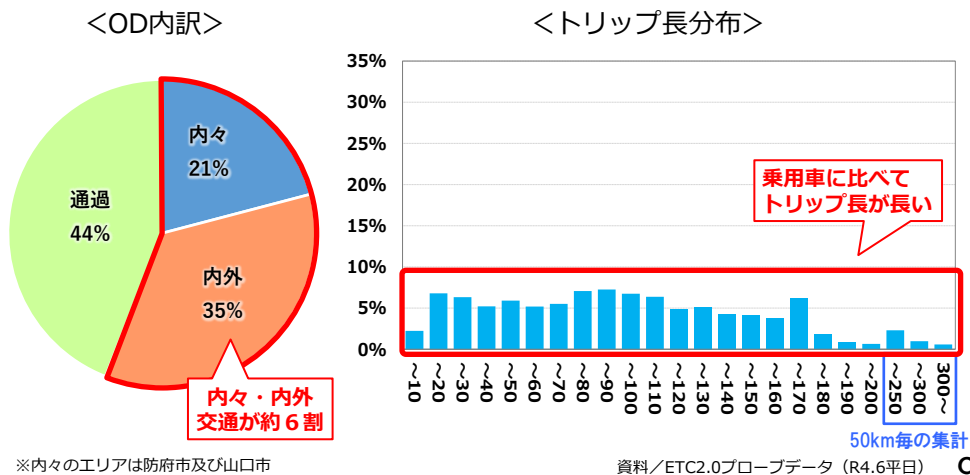


資料/ETC2.0プローブデータ (R4.6平日)、R4.16交通実態調査結果

■乗用車のOD内訳・トリップ長分布



■貨物車のトリップ長分布・OD内訳



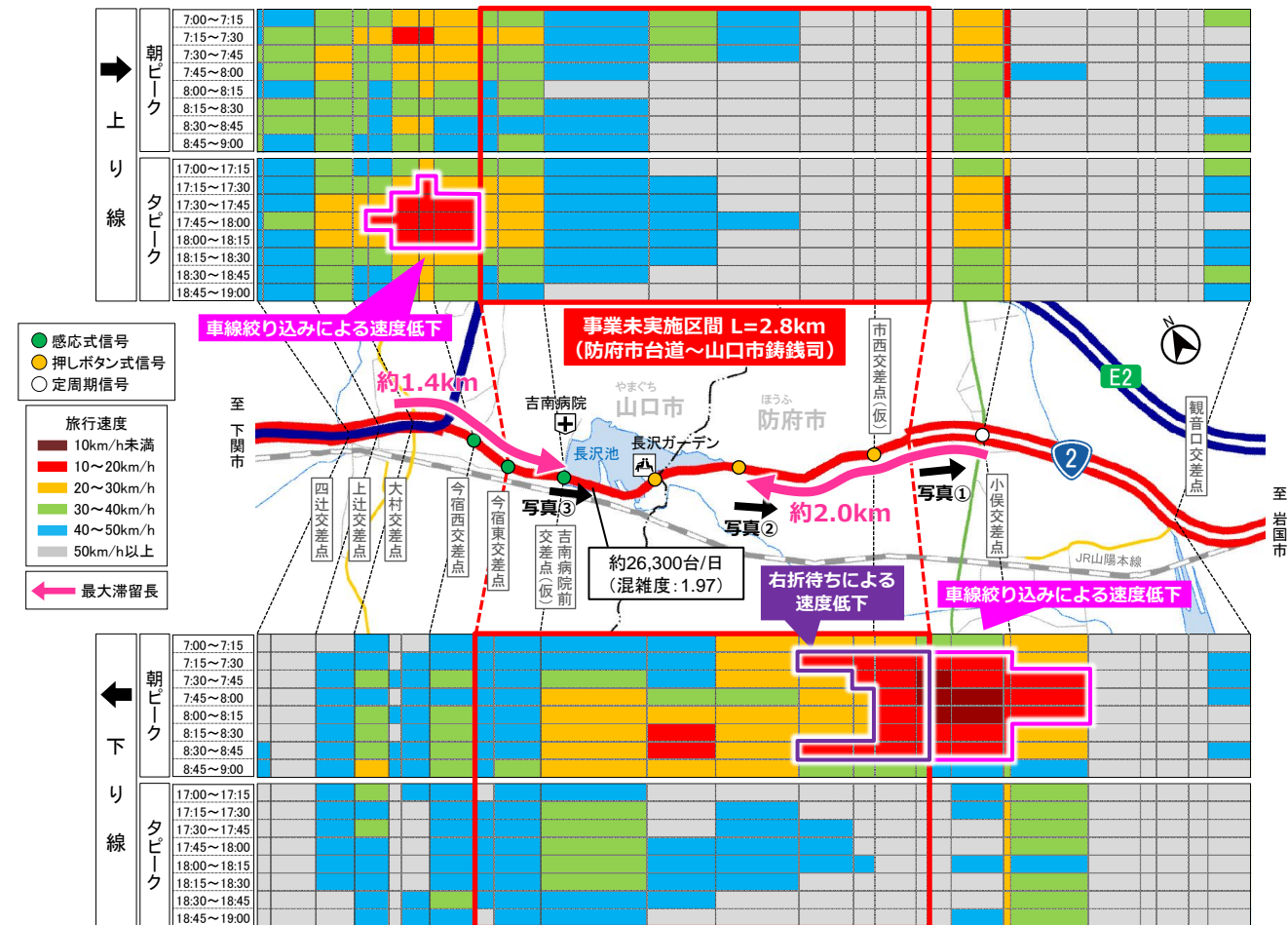
※内々のエリアは防府市及び山口市

資料/ETC2.0プローブデータ (R4.6平日)

(3) 混雑状況

- 上り線では、4車線区間から2車線区間への車線の絞り込みによって旅行速度が20km/h未満まで低下し、夕ピーク時には最大約1.4kmの滞留が発生している。
- 下り線も同様に車線の絞り込みによって旅行速度が10km/h未満まで低下し、朝ピーク時には最大約2.0kmの滞留が発生している。2車線区間においては、細街路への右折車による進行阻害等により、後続車の滞留が延伸している。

■ 旅行速度・最大滞留長・交通量・混雑度



■ 状況写真



< 防府市台道付近 >



< 防府市台道付近 >

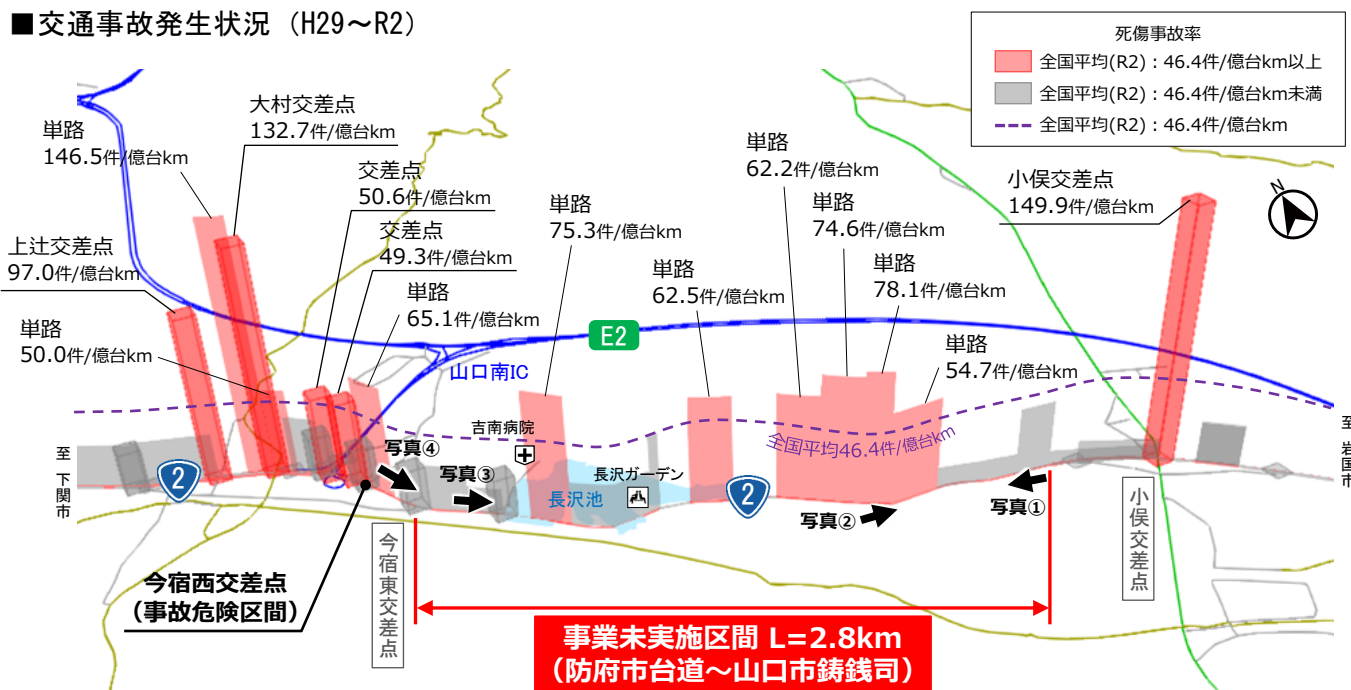


< 山口市長沢付近 >

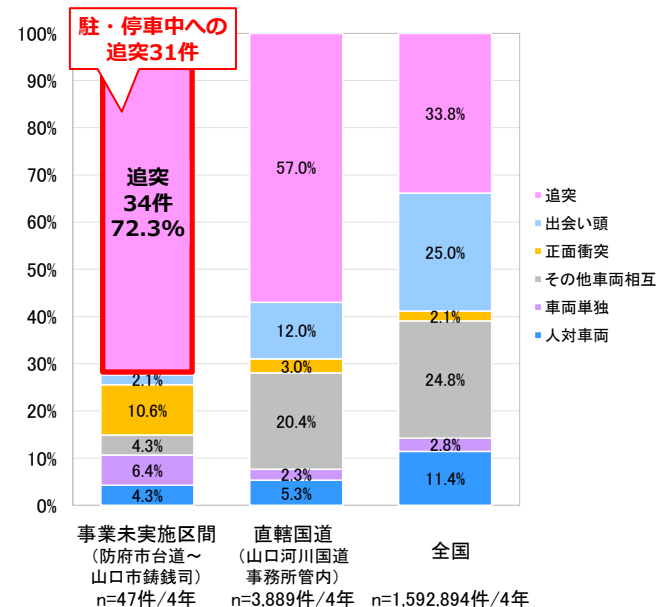
(4) 交通事故発生状況

- 事業未実施区間の死傷事故率は、単路部において全国平均以上となっている。
- 事業未実施区間では、H29～R2の4年間で死傷事故が47件発生しており、約7割が駐・停車中車両への追突事故である。
- 今宿西交差点は、車線絞り込みに伴う車線変更によって急ブレーキが多く、事故危険区間に指定されている。

■交通事故発生状況 (H29～R2)



【事故類型】



資料/交通事故・道路統合データベース(H29-R2)

資料/交通事故・道路統合データベース(H29-R2)

■関連写真



車線減少箇所の車線変更状況 (撮影日:R4.6)



事故状況 (撮影日:H28.7)



後続車両のブレーキ状況 (撮影日:R3.10)



車線減少箇所の車線変更状況 (撮影日:R4.6)

(5) 交通事故等による交通規制

- 事業未実施区間では、交通事故等による交通規制が過去10年間(H24～R3年度)で46件、合計約63時間発生している。
- 全面通行止めについては、4車線拡幅済区間では発生していないが、事業未実施区間では10件(最長5時間37分)発生している。
- 平成31年4月19日には、普通車と10tトラックの事故により2時間超に渡る全面通行止め及び片側交互通行の影響で、上下線ともに渋滞が発生している。

■ 交通規制実績 (H24～R3年度)

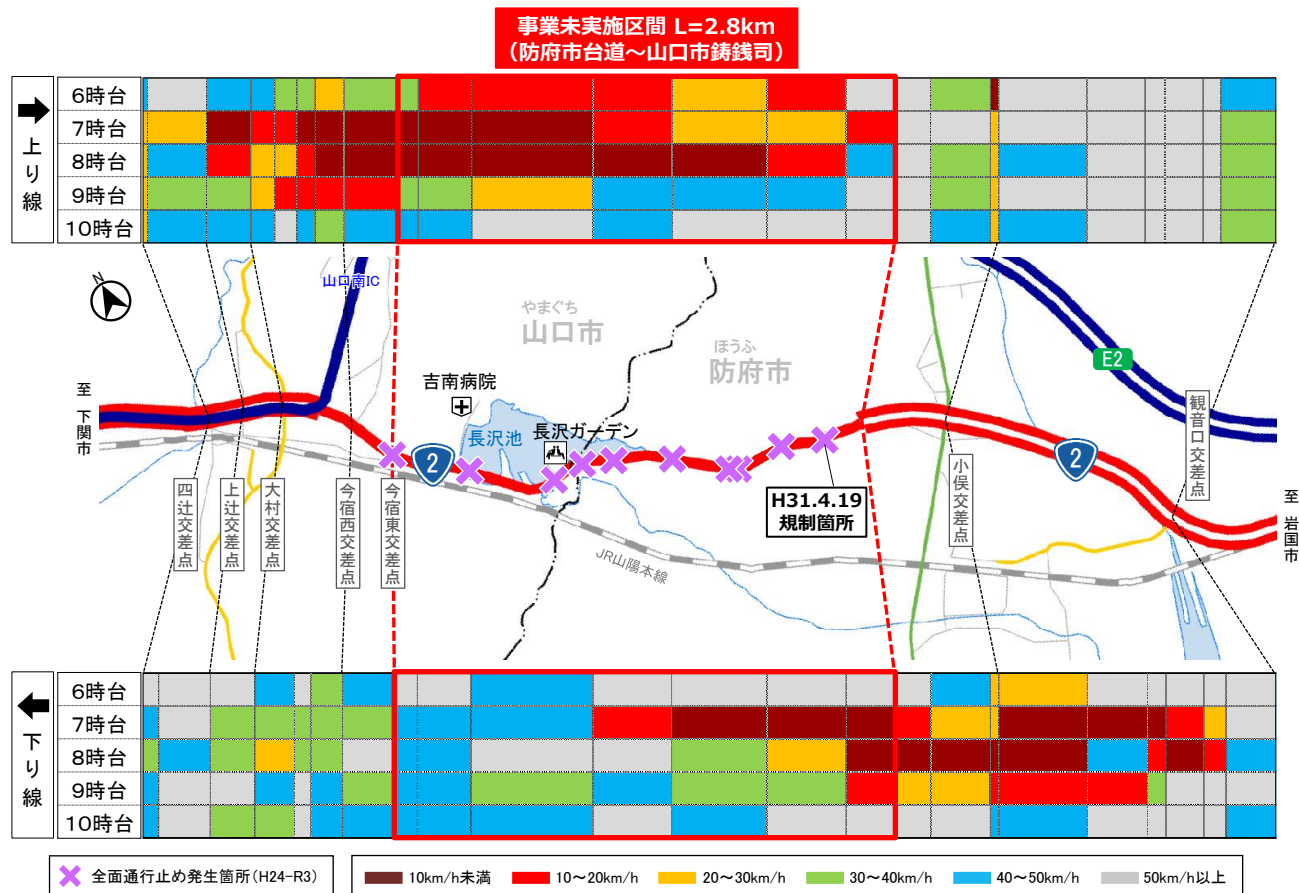
発生年度	発生件数		規制時間	
			全面通行止め ※括弧内は規制時刻	片側交互通行
H24	片側交互通行	3件		1時間 38分
H25	片側交互通行	3件		2時間 50分
H26	全面通行止め	1件	42分 (16:13～16:55)	
	片側交互通行	3件		3時間 7分
H27	全面のち片交	1件	52分 (15:46～16:38)	43分
	片側交互通行	1件		1時間 3分
H28	全面通行止め	1件	5時間 37分 (01:20～06:57)	
	片側交互通行	7件		8時間 35分
H29	片交のち全面	1件	10分 (10:35～10:45)	1時間 18分
	片側交互通行	4件		4時間 59分
H30	片交のち全面	1件	50分 (10:04～10:54)	2時間 28分
	片側交互通行	7件		8時間 58分
R1	全面通行止め	1件	15分 (21:25～21:40)	
	全面のち片交	1件	1時間 38分 (06:47～08:25)	34分
	片側交互通行	3件		6時間 52分
R2	全面通行止め	1件	16分 (07:53～08:09)	
	全面のち片交	1件	11分 (21:00～21:11)	1時間 59分
	片側交互通行	3件		4時間 40分
R3	全面通行止め	1件	1時間 29分 (21:43～23:12)	
	片側交互通行	2件		49分
合計		46件	12時間 0分	50時間 33分

※全面通行止めの後、片側交互通行：3件
片側交互通行の後、全面通行止め：2件
全面通行止めのみ：5件
片側交互通行のみ：36件

合計：46件

資料/山口河川国道事務所

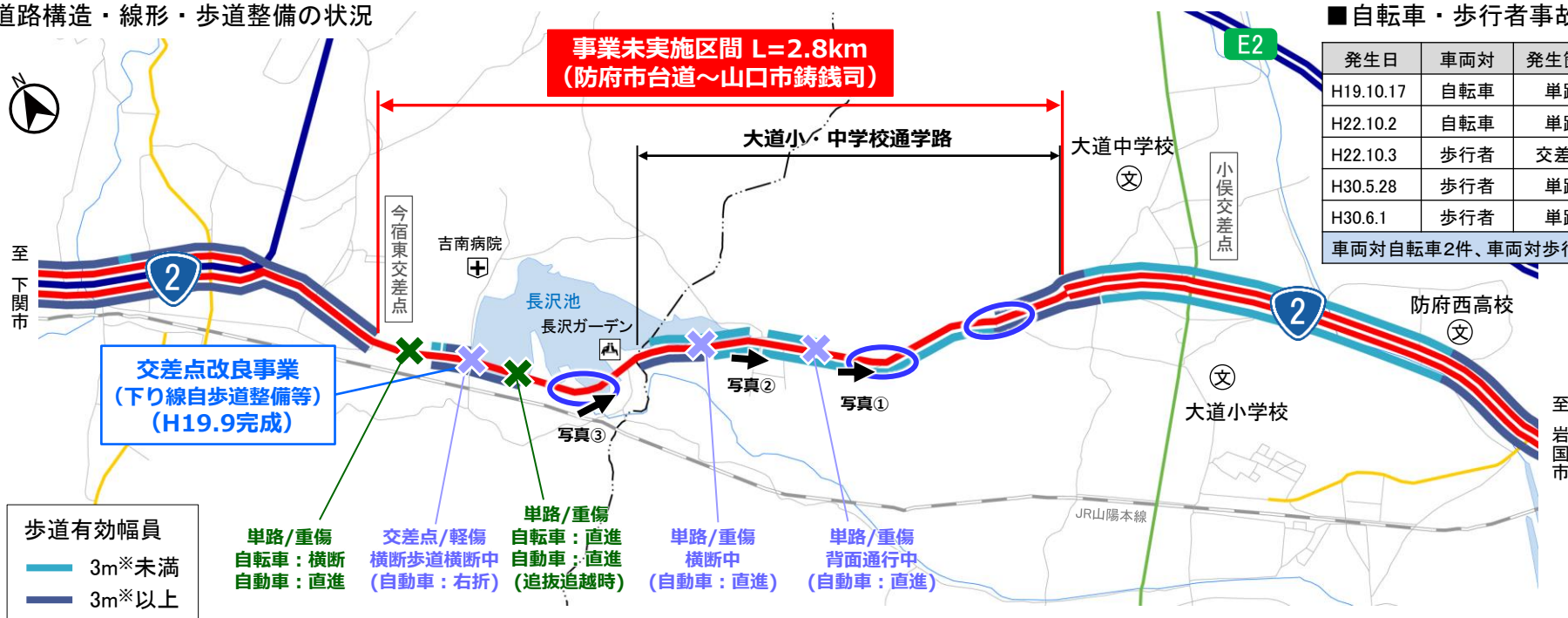
■ H31.4.19 (金) 規制時の旅行速度・全面通行止め発生箇所



(6)道路構造・線形等の課題

- 長沢池付近では両側とも歩道未整備区間が存在し、H18～R2の15年間で自転車関連事故が2件、人対車両事故が3件発生しており、歩行者や自転車での通行が危険な状況である。
- 大道小学校の通学経路上において、一部区間で歩道が整備されておらず危険な状況である。
- 平面曲線半径が比較的小さい箇所が存在し、急ハンドル挙動が集中する箇所が存在している。

■道路構造・線形・歩道整備の状況



■自転車・歩行者事故発生状況

発生日	車両対	発生箇所	内容
H19.10.17	自転車	単路	重傷
H22.10.2	自転車	単路	重傷
H22.10.3	歩行者	交差点	軽傷
H30.5.28	歩行者	単路	重傷
H30.6.1	歩行者	単路	重傷

車両対自転車2件、車両対歩行者 3件

※道路構造令における自転車歩行者道の最小幅員
資料/MICHIデータ

歩行者との事故
自転車との事故

資料/交通事故・道路統合データベース(H18-R2)

急ハンドル集中箇所

資料/ETC2.0(R3.4-R4.3, 7:00-19:00)

※左右加速度の絶対値が0.3G以上の急ハンドル挙動が集中する箇所



< 山口市長沢付近 >

< 防府市台道付近 >

< 防府市台道付近 >

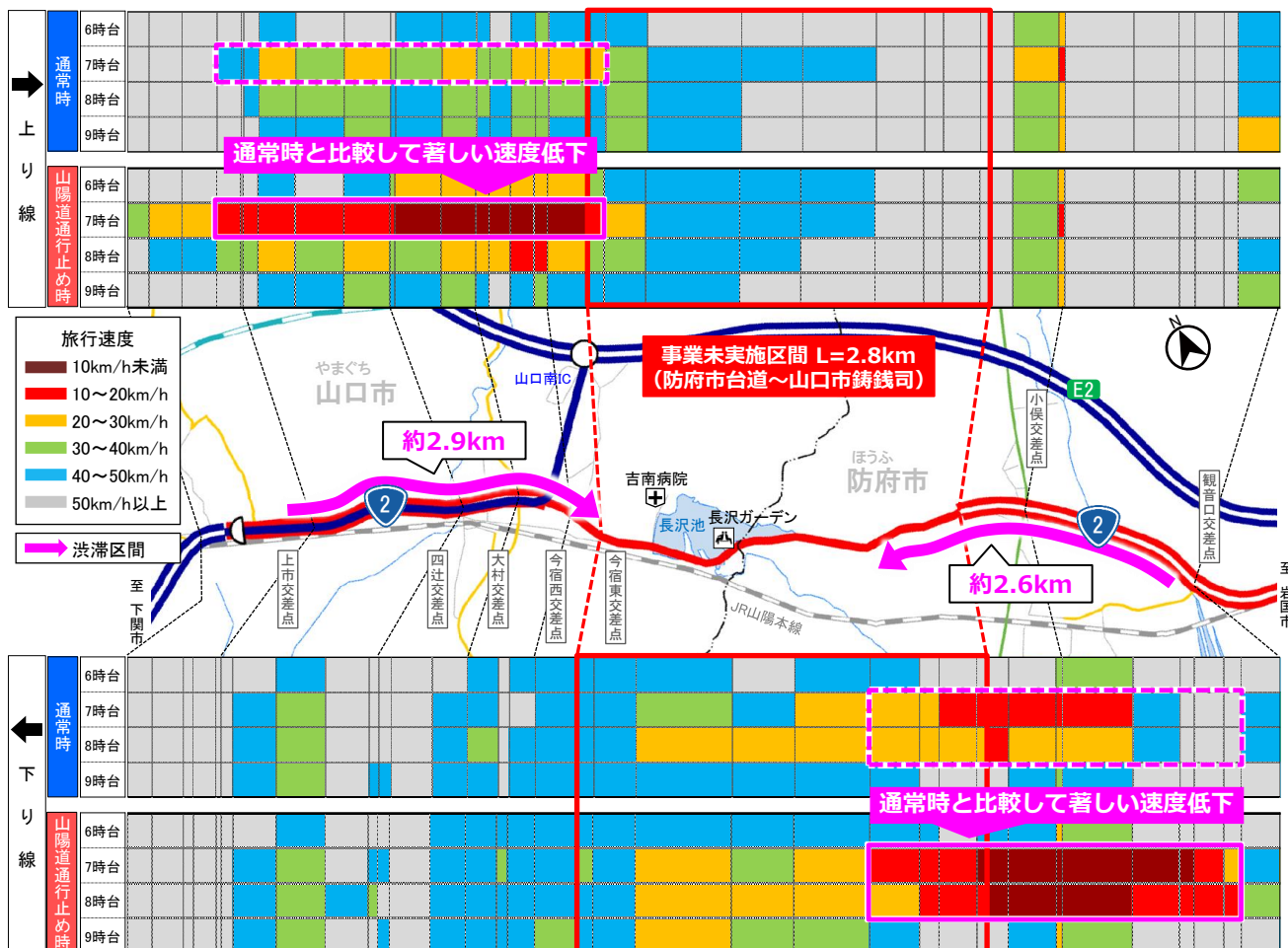
(7)山陽自動車道の交通規制による影響

- 事業未実施区間に並行する山陽自動車道では、交通規制が過去10年間(H24～R3年度)で21件、合計約145時間発生している。
- 令和2年7月の大雨による山陽自動車道通行止めの際には、国道2号に交通が集中し、事業未実施区間を先頭とした速度低下が顕著となっており、朝ピーク時の所要時間は、通常時の約2.0倍に増加している。

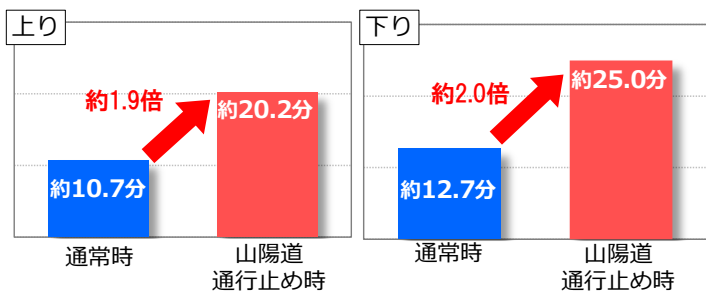
■ 防府西IC～山口南IC間交通規制実績 (H24～R3年度) ■ 山陽道通行止め時の旅行速度状況

発生年度	原因	発生件数	規制延時間
H25	交通事故	3件	6時間 58分
	落下物	1件	1時間 1分
H27	風	1件	8時間 45分
	路面積雪	1件	20時間 25分
H28	交通事故	3件	11時間 15分
	反対車線の事故に伴う通行止め	1件	2時間 45分
H29	交通事故	1件	4時間 54分
H30	事故再見分	1件	2時間 0分
H30	交通事故	2件	14時間 32分
R1	事故再見分	1件	3時間 3分
R2	雨	1件	16時間 7分
	風	1件	5時間 0分
R3	路面積雪	2件	24時間 3分
	事故再見分	1件	3時間 6分
R3	雨	1件	21時間 30分
	雨	1件	21時間 30分
合計		21件	145時間 24分

※上下方向同時発生の場合は1件としてカウント 資料/NEXCO西日本提供資料



■ 国道2号の所要時間



資料/ETC2.0プローブデータ(7時台)
 上り: 上市交差点→小俣交差点、下り: 観音口交差点→今宿西交差点
 通常時: R2.4-R3.3平日平均、山陽道通行止め時: R2.7.8(水)

資料/ETC2.0プローブデータ (通常時: R2.4～R3.3平日平均、山陽道通行止め時: R2.7.8)
 ※渋滞区間はETC2.0プローブデータの走行速度が20km/h未満の区間長

第2回 国道2号防府山口市域 道路整備検討会

- ◆地域の将来像◆
- ◆期待される整備効果◆
- ◆政策目標(案)の設定◆



令和4年9月13日 山口県

山口県における各種計画への位置付けについて

山口・防府市域では、円滑な交通流動の確保や、企業のコスト競争力強化及び生産性向上を図るため、広域交通拠点へのアクセス性の向上や渋滞の緩和などに資する、また、災害時にも機能する信頼性の高い、道路ネットワークの構築を重点的かつ計画的に進めていく必要がある、国道2号のうち、未改良かつ交通安全上課題が残る防府市台道から山口市鑄銭司の区間について、県で定める各種計画に位置付け、その整備を促進することとしている。

① やまぐち維新プラン

平成30年度に策定した「やまぐち維新プラン」において、「時代を勝ち抜く産業力強化プロジェクト」として、港湾・空港等とのアクセス向上に資する幹線道路の建設の促進を位置付け。

やまぐち維新プラン 2018▶2022 「活力みなぎる山口県」の実現



産業維新

① 時代を勝ち抜く産業力強化プロジェクト

本県経済の原動力である瀬戸内沿岸の企業群を中心とした基幹産業が、グローバル時代の国際競争や、産業の構造的変革を勝ち抜いていくため、競争力強化に必要な基盤整備や、企業集積を進める誘致活動を行うことで、本県の産業力を強化します。

重点施策

■ 1 強みを伸ばす産業基盤の整備

- 迅速かつ円滑な物流を支える幹線道路網の整備
 - ▼ 広域的な連携の強化に資する山陰道の建設の促進
 - ▼ 地域高規格道路*や、港湾・空港等とのアクセス向上に資する幹線道路の建設の促進
 - ▼ 大型車両の通行を誘導すべき道路の指定による、特殊車両通行許可制度*の改善

②やまぐち産業イノベーション戦略

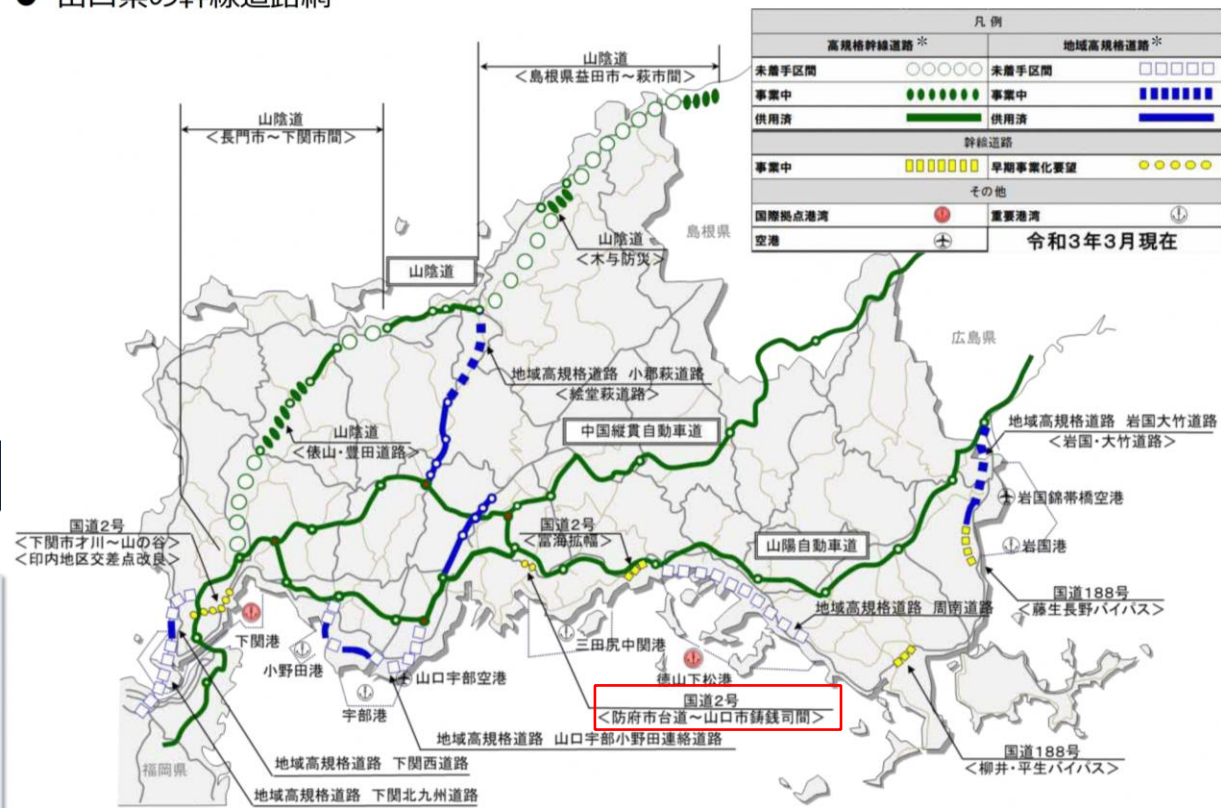
令和3年3月に改定された「やまぐち産業イノベーション戦略」において、「瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト」として**国道2号(防府市台道～山口市銕銭司間)**の建設促進を位置付け。

やまぐち産業イノベーション戦略

【第1次改定版】

山口県産業戦略本部
令和3年(2021年)3月

● 山口県の幹線道路網



No 1-3 瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト (迅速かつ円滑な物流を支える幹線道路網の整備)

- 2 プロジェクトの概要
- 迅速かつ円滑な物流を支える幹線道路網の整備等を促進
- ▶ 高規格幹線道路*の建設促進
広域的な連携の強化に資する山陰道の建設を促進
 - ▶ 地域高規格道路*等の建設促進
地域高規格道路や、港湾・空港等とのアクセス向上に資する国道・県道の建設を促進
 - ▶ 特殊車両通行許可制度*の改善
物流生産性向上のための特殊車両通行許可制度の改善

③やまぐち未来開拓ロードプラン

平成28年度に策定した「やまぐち未来開拓ロードプラン」において、港湾・空港等へのアクセス性の向上を図る国道・県道の整備の推進を位置付け。

やまぐち
未来開拓ロードプラン

やまぐちの
未来を拓くみちづくり

山口県の道路整備計画

山 口 県

第5章 方策の推進

1 方策の具体的な取組

(1) 産業力・観光力の強化を支援します！



具体的な取組

■ 物流等の迅速化・円滑化

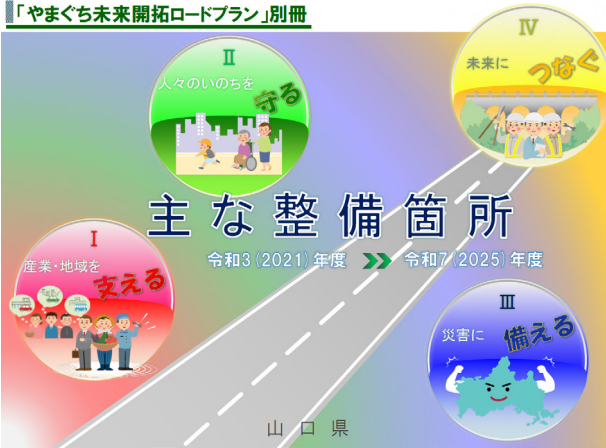
県内企業の競争力強化を図るとともに、地域経済への多面的な波及効果が期待できる新規企業の誘致を進めるため、迅速かつ円滑な物流・人流の実現に資する山陰道や地域高規格道路*、さらには、企業団地・工場からインターチェンジ、港湾・空港等へのアクセス性の向上を図る国道・県道の整備を推進します。

■ 特殊車両通行許可制度*の改善等

利用者ニーズを踏まえた大型車両の通行を誘導すべき道路の指定や、特殊車両通行許可制度*における通行条件の緩和等を国へ要望するなど、物流の効率化に努めます。

④やまぐち未来開拓ロードプラン別冊「主な整備箇所」

「やまぐち未来開拓ロードプラン」の別冊「主な整備箇所」(令和4年4月改定)に「整備が求められる主な路線」として防府市台道から山口市鑄銭司間を含む国道2号を位置付け。



2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域のみちづくり

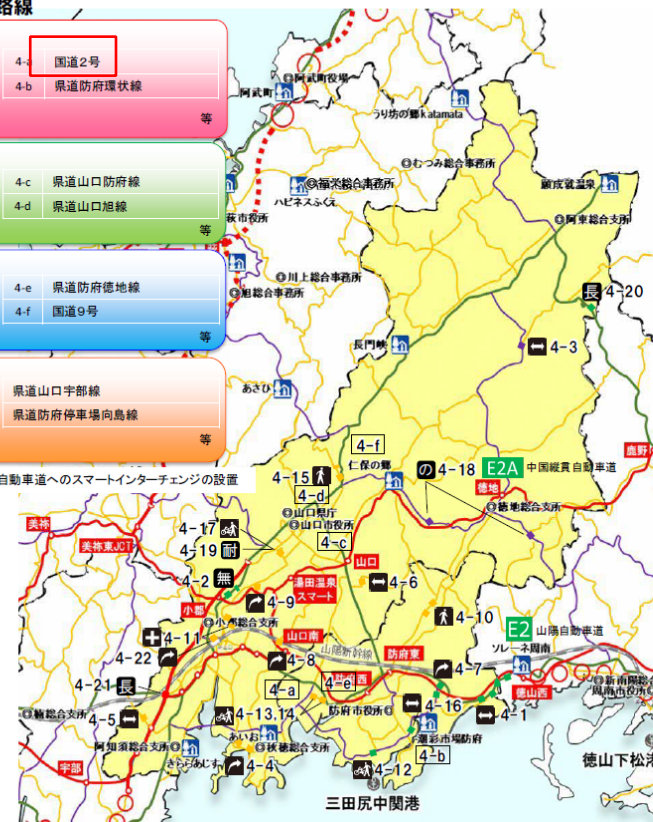
整備が求められる主な路線

- I 産業・地域を『支える』**
 - 物流等の迅速化・円滑化
 - 観光客の利便性の向上
 - 交流・連携の強化
 - バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進
- II 人々のいのちを『守る』**
 - 生活道路等における交通安全対策の推進
 - 緊急医療施設への搬送時間の短縮
- III 災害に『備える』**
 - 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
 - 防災・減災対策の推進
 - 橋梁の耐震補強
- IV 未来に『つなぐ』**
 - 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
 - 日常的な維持管理の充実・効率化
 - 異常気象時等の対応

県道山口宇部線
県道防府停車場向島線

※その他、中国縦貫自動車道、山陽自動車道へのスマートインターチェンジの設置

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面対策
- 耐震化
- 無電柱化
- 長寿命化
- スマートインターチェンジ
- 道の駅
- 県庁、市役所等



主な整備中箇所

No.	路線名(工区名等)	内容	道路整備目標	4つの方針		
				支える	守る	つなぐ
4-1	国道2号(富海拡幅)	現道拡幅	完成(R7)	●	●	●
4-2	国道9号(仁保津工区)	無電柱化	事業継続	●	●	●
4-3	国道489号(横山拡幅)	現道拡幅	部分完成(R4)	●	●	●
4-4	県道宇部防府線(黒湯)	バイパス	事業継続	●	●	●
4-5	県道宇部防府線(佐山)	現道拡幅	完成(R5)	●	●	●
4-6	県道山口徳山線(鳴滝)	現道拡幅	事業継続	●	●	●
4-7	県道防府環状線(牟礼)	バイパス	事業継続	●	●	●
4-8	県道山口秋穂線(鑄銭司)	バイパス	事業継続	●	●	●
4-9	県道陶湯田線(黒川)	バイパス	完成(R4)	●	●	●
4-10	県道防府徳地線(徳地)	歩道整備	完成(R4)	●	●	●
4-11	県道小郡三隅線(小郡上郷)	交差点改良	事業継続	●	●	●
4-12	県道防府環状線(坂方)	自歩道整備	完成(R4)	●	●	●
4-13	県道高井大進停車場線(大進駅前)	自歩道整備	完成(R5)	●	●	●
4-14	県道高井大進停車場線(大進駅前)	自歩道整備	事業継続	●	●	●
4-15	県道宮野上佐々堂線(宮野上七郎)	歩道整備	事業継続	●	●	●
4-16	郡道環状一号线(県道防府環状線(新田))	現道拡幅	完成(R7)	●	●	●
4-17	郡道長岡平川線(県道陶湯田線(湯田温泉~平井))	自歩道整備	事業継続	●	●	●
4-18	国道376号(仁保~徳地)	のり面対策	事業継続	●	●	●
4-19	県道陶湯田線(湯田駅前線)	耐震化	事業継続	●	●	●
4-20	国道375号(平道トンネル)	長寿命化	事業継続	●	●	●
4-21	県道山口宇部線(新木松橋)	長寿命化	事業継続	●	●	●
4-22	市道中備長谷線(山口市東条)	バイパス	完成(R2)	●	●	●

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が不確定に連携した場合の現時点における目標を示したものです。

⑤山口・防府広域都市圏の都市計画の方針

平成31年3月に策定した「山口・防府広域都市圏の都市計画の方針」に「都市間連携軸」として、**防府市台道から山口市鑄銭司間を含む国道2号**を位置付け。

山口・防府広域都市圏の都市計画の方針

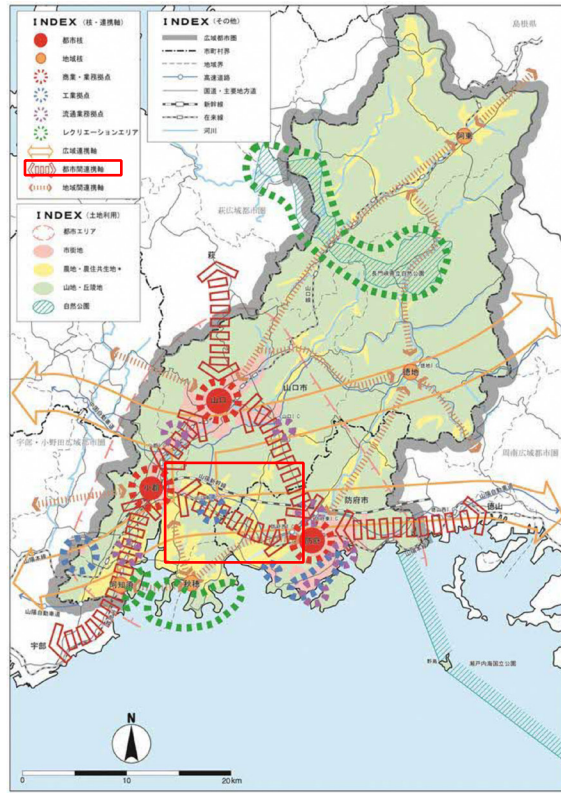
《目次》

- 1. 都市計画の目標.....1
- 1-1. 山口・防府広域都市圏の都市づくりの基本理念.....1
- 1-2. 山口・防府広域都市圏の将来像.....2
- 1-3. 都市計画区域等の指定の方針.....9
- 2. 区域区分の決定の方針.....10
- 2-1. 区域区分を決定する都市計画区域の設定方針.....10
- 3. 主要な都市計画の考え方.....11
- 3-1. 土地利用に関する基本方針.....11
- 3-2. 広域的な都市施設の整備に関する基本方針.....15
- 3-3. 市街地整備に関する基本方針.....19
- 3-4. 自然的環境の整備、保全に関する基本方針.....20
- 3-5. 景観の保全と創出に関する基本方針.....22
- 3-6. 都市防災に関する基本方針.....23

平成31年3月

山口県土木建築部都市計画課

■ 山口・防府広域都市圏の将来都市構造図



3-2. 広域的な都市施設*の整備に関する基本方針

(1) 広域的な交通施設の整備方針

① 広域的な交通体系の整備方針

- ・ 県央部の中核的な都市としての中核機能を発揮し、本圏域外の地域との広域交流を通じた地域活性化を図るために、既存の高速交通体系を活かしつつ、県外主要都市および広域都市圏間の連携を促進する総合的な広域交通ネットワークの充実・強化に努める。
- ・ 都市機能*が集積している都市部と過疎化・高齢化が進む農山漁村地域においては、日常的な人やモノの交流や相互補完的な機能連携が図られるよう、交流を強化する交通体系の整備・充実を進める。

② 広域的な道路網の整備方針

- ・ 圏域内の円滑な交通流動の確保や都市部と山間部の交流連携を強化するため、本広域都市圏の骨格となる国道2号や国道9号などの広域幹線道路の整備を促進する。
- ・ 高速交通網の利便性を向上させ、物流の円滑化等を図るため、高速道路インターチェンジや新山口駅等の広域交通拠点へのアクセス道路の整備を促進する。

③ その他の主要な交通施設の整備方針

- ・ 都市内の幹線道路については、総合的な交通体系や交通サービスを勘案し、既存道路も含めた都市内道路の各路線の必要性や機能等の検証を行った上で整備を行う。
- ・ 環境問題や、自家用車による移動が困難な人々に対応するため、鉄道や路線バス等の公共交通の維持・充実を図る。また、公共交通の利用を促進するため、駅舎やバス停、歩道や自転車道など、交通施設のユニバーサルデザイン*化やパークアンドライド*、サイクルアンドライド*の普及を推進する。
- ・ 新山口駅では、駅前広場の整備やターミナル機能*の強化を図るとともに、南北市街地の一体化に努め、県央部の中核的な都市の玄関口として周辺の市街地と一体的な整備を進める。
- ・ 自家用車から公共交通への転換や交通不便地域における移動手段を確保するため、コミュニティ交通*の維持・充実を図る。
- ・ 駅や港などの交通結節点*や観光拠点などにおいて、今後の市街地整備や観光振興の動向などから、民間駐車場との整合性を図りつつ、需要に見合った駐車場整備を進める。
- ・ 本広域都市圏の産業、経済発展の基盤となっている三田尻中関港中関地区においては、自動車産業を中心とした物流需要の増大等に対応するため、岸壁の改良やコンテナターミナルの再編整備など、港湾機能の強化を進める。

⑥山口都市計画 都市計画区域の整備 開発及び保全の方針

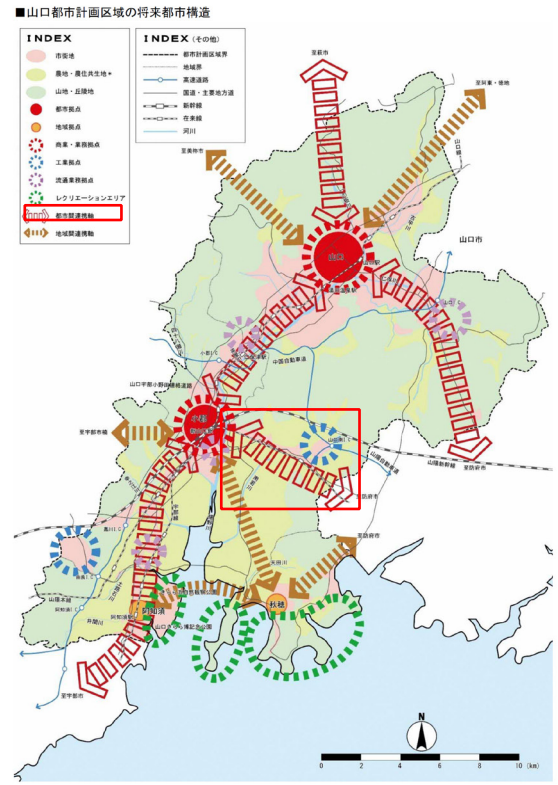
令和2年12月に策定した「山口都市計画 都市計画区域の整備 開発及び保全の方針」に「都市間連携軸」として、**国道2号**を位置付け。

山口都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

《目次》

- 1. 都市計画の目標 1
- 1-1. 基本的事項 1
- 1-2. 都市づくりの基本理念 2
- 2. 区域区分の決定の有無 4
- 3. 主要な都市計画の決定の方針 5
- 3-1. 土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針 5
- 3-2. 都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針 10
- 3-3. 市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針 18
- 3-4. 自然的環境の整備又は保全に関する主要な都市計画の決定の方針 19
- 3-5. 景観の保全と創出に関する主要な都市計画の決定の方針 23
- 3-6. 都市防災に関する主要な都市計画の決定の方針 24
- 参考資料 25

令和2年(2020年)12月
山口県土木建築部都市計画課



3-2. 都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針

(1) 交通施設の都市計画の決定の方針

① 基本方針

1) 交通体系の整備の方針

- ・ 県央の中核を成す都市としての中枢機能を発揮し、他の広域都市圏との広域交流を通じた地域活性化を図るために、既存の高速交通体系を活かしつつ、他都市との連携を促進する総合的な広域交通ネットワークの充実・強化に努める。
- ・ 市街地内の交通を円滑に処理し、より安全で快適な生活を実現するため、幹線道路ネットワークの構築や公共交通機関の利便性の向上を図る。
- ・ 既存の道路空間を自家用車から徒歩・自転車交通、公共交通等を重視した空間に再構築することに努め、道路空間の利活用による都市環境の改善を図る。
- ・ 自家用車から公共交通への転換や交通不便地域における移動手段を確保するため、コミュニティ交通の維持・充実を図る。
- ・ 都市機能が集積している都市部と過疎化・高齢化が進む農山漁村地域においては、日常的な人やモノの交流や相互補完的な機能連携が図られるよう、交流を強化する交通体系の整備・充実を進める。
- ・ 長期にわたり未整備の都市計画道路については、県策定の都市計画道路の見直し基本方針等をもとに土地利用や拠点形成など地域整備の方向性の見直し等とあわせて、その必要性や配置、構造等についての検証を行い、見直しの必要がある場合には都市計画の見直しを行う。
- ・ 新幹線駅や高速道路のインターチェンジなどの広域交通拠点とのアクセス性の向上を図る。
- ・ 気候変動等の環境問題や、自家用車による移動が困難な人々に対応するため、山陽新幹線や山陽本線の利便性の向上、山口線の運行本数の維持・充実とともに、身近な交通手段であるバスネットワークの充実など公共交通の維持・充実を図る。
- ・ 公共交通の利用を促進するため、交通結節点の機能強化を図るとともに、駅舎やバス停、歩道や自転車道など、交通施設のユニバーサルデザインに配慮した整備やパークアンドライド、サイクルアンドライドの普及を推進する。

2) 整備水準の目標

- ・ 山口県の道路整備や保全の基本的な方針を示す「やまぐち未来開拓ロードプラン」に基づき、厳しい財政状況においても、元気な産業や活気ある地域の中で、人々がはつらつと暮らすことができるよう、重点的・計画的に道路の整備・保全を推進していく。

② 主要な施設の配置の方針

1) 道路

【広域幹線道路】

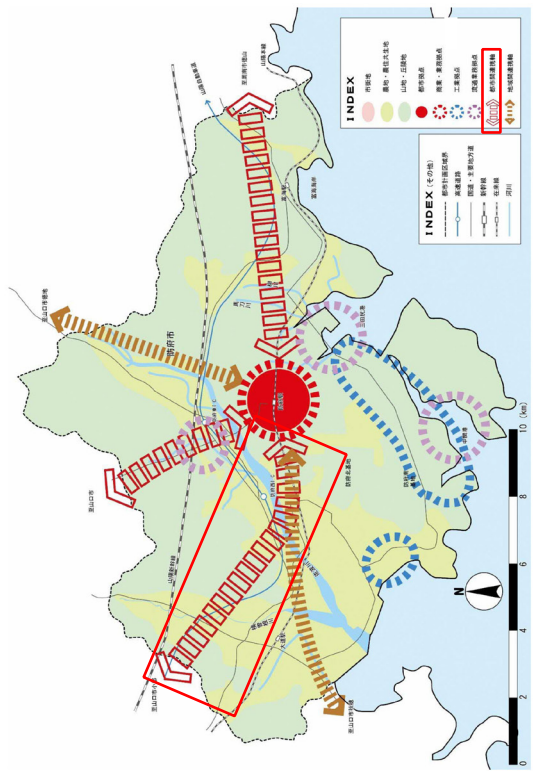
- ・ 周辺の広域都市圏及び都市拠点との相互連携による中枢性の向上を図り、円滑な交通流動を確保するため、中国自動車道、山陽自動車道、**国道2号**、国道9号、国道435号、国道376号、国道190号、国道262号、県道山口宇部線（山口宇部小野田連絡道路）を**広域幹線道路**として位置づける。

⑦防府都市計画 都市計画区域の整備 開発及び保全の方針

令和2年12月に策定した「防府都市計画 都市計画区域の整備 開発及び保全の方針」に「都市間連携軸」として、**国道2号**を位置付け。

防府都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

■防府都市計画区域の将来都市構造



【目次】

1. 都市計画の目標	1
1-1. 基本的事項	1
1-2. 都市づくりの基本理念	2
2. 区域区分の決定の有無及び区域区分を定める際の方針	4
2-1. 区域区分の決定の有無	4
2-2. 区域区分の方針	4
3. 主要な都市計画の決定の方針	6
3-1. 土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針	6
3-2. 都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針	10
3-3. 市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針	17
3-4. 自然的環境の整備又は保全に関する主要な都市計画の決定の方針	18
3-5. 景観の保全と創出に関する主要な都市計画の決定の方針	22
3-6. 都市防災に関する主要な都市計画の決定の方針	23
参考資料	24

令和2年(2020年)12月
山口県土木建築部都市計画課

3-2. 都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針

(1) 交通施設の都市計画の決定の方針

① 基本方針

1) 交通体系の整備の方針

- ・都市の魅力の向上や産業の振興を図るために、山陽自動車道防府東インターチェンジや防府西インターチェンジを有する条件を活かし、圏域間の連携を促進する総合的な広域交通ネットワーク*の充実・強化に努める。
- ・市街地内の交通を円滑に処理し、より安全で快適な生活を実現するため、幹線道路ネットワークの構築や公共交通機関の利便性の向上を図る。
- ・既存の道路空間を自家用車から徒歩・自転車交通、公共交通等を重視した空間に再構築することに努め、道路空間の利活用による都市環境の改善を図る。
- ・道路や沿道の緑化等により、観光ネットワーク*の演出にも役立つ、地域の特性を活かした道路景観の形成に努める。
- ・自家用車から公共交通への転換や交通不便地域における移動手段を確保するため、コミュニティ交通*の維持・充実を図る。
- ・都市機能が集積している都市部と過疎化・高齢化が進む農山漁村地域においては、日常的な人やモノの交流や相互補完的な機能連携が図られるよう、交流を強化する交通体系の整備・充実を進める。
- ・長期にわたり未整備の都市計画道路については、県策定の都市計画道路の見直し基本方針等をもとに土地利用や拠点形成など地域整備の方向性を見直しとあわせて、その必要性や配置、構造等についての検証を行い、見直しの必要がある場合には都市計画の見直しを行う。
- ・気候変動等の環境問題や、自家用車による移動が困難な人々に対応するため、山陽本線の利便性向上を図るとともに、身近な交通手段であるバスや離島航路などの公共交通の維持・充実を図る。
- ・公共交通の利用を促進するため、交通結節点の機能強化を図るとともに、駅舎やバス停、歩道や自転車道など、交通施設のユニバーサルデザイン*に配慮した整備やパークアンドライド*、サイクルアンドライド*の普及を推進する。

2) 整備水準の目標

- ・山口県の道路整備や保全の基本的な方針を示す「やまぐち未来開拓ロードプラン*」に基づき、厳しい財政状況においても、元気な産業や活気ある地域の中で、人々がはつらつと暮らすことができるよう、重点的・計画的に道路の整備・保全を推進していく。

② 主要な施設の配置の方針

1) 道路

【広域幹線道路】

- ・ 周辺の都市拠点との連携を促進するため、広域幹線道路として山陽自動車道、国道2号、国道262号を位置づける。

防府山口市域の将来像、期待される整備効果

【防府山口市域の将来像】

- ◆物流等の基盤となる道路網の整備が一層進み、充実した産業基盤を活かして、企業活動が活発に展開 <出典：やまぐち維新プラン(H30.10)>
- ◆地域の魅力があふれる産業と観光のまち <出典：山口市総合計画(H30.3)>
- ◆新たな道路網「防府・未来へのネットワーク」の構築 <出典：防府市総合計画(R3.3)>

期待される整備効果

①産業振興を支援するネットワークの強化

道路の整備により、**渋滞が緩和し**、**ジャストオンタイム**で稼働するマツダ(株)防府工場への**自動車部品輸送の定時性が向上する等**、産業振興を支援するネットワーク強化が期待される。



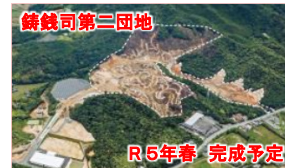
車線減少箇所では、朝夕をはじめとし、渋滞が発生している。

写真① 車線変更車両により後続車両がブレーキを踏む渋滞の様子。

期待される整備効果

②企業誘致の促進、雇用創出の拡大

道路の整備により、交通利便性など企業の立地環境が向上すれば、**企業誘致の促進**に繋がりがり、**雇用創出の拡大**など地域の活性化が期待される。



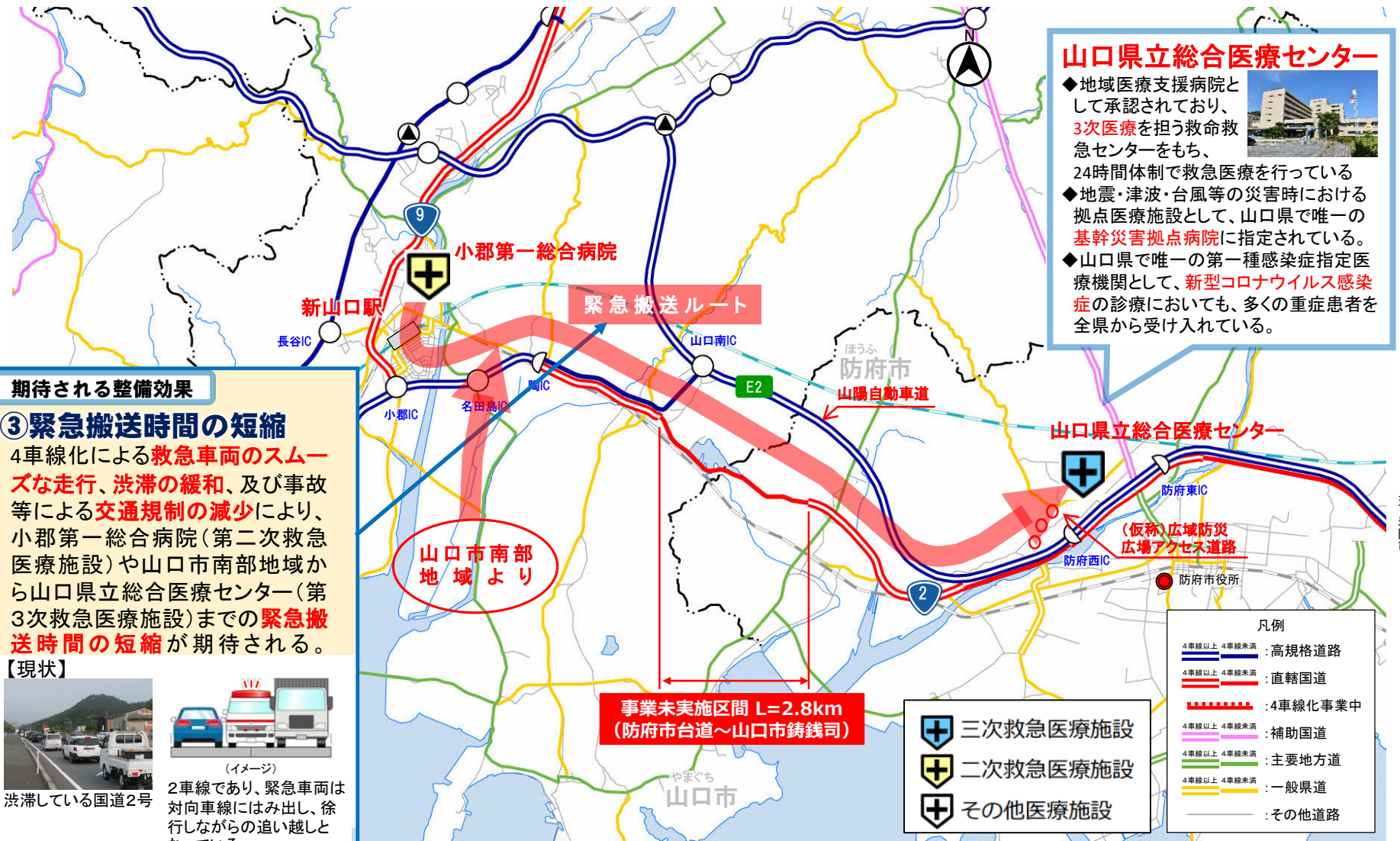
未実施区間周辺には工業団地が多数立地している。令和5年春には、鑄銭司第二団地が完成予定。



防府山口市域の将来像、期待される整備効果

【防府山口市域の将来像】

- ◆ 県内どの地域でも、安心して医療や介護のサービスを受けることができる環境 <出典：やまぐち維新プラン(H30.10)>
- ◆ あらゆる世代が健やかに暮らせるまち <出典：山口市総合計画(H30.3)>
- ◆ 各輸送拠点と防災拠点や医療拠点をつなぐ幹線道路ネットワークの構築 <出典：防府市総合計画(R3.3)>



山口県立総合医療センター

- ◆ 地域医療支援病院として承認されており、**3次医療**を担う救命救急センターをもち、24時間体制で救急医療を行っている
- ◆ 地震・津波・台風等の災害時における拠点医療施設として、山口県で唯一の**基幹災害拠点病院**に指定されている。
- ◆ 山口県で唯一の第一種感染症指定医療機関として、**新型コロナウイルス感染症**の診療においても、多くの重症患者を全県から受け入れている。

期待される整備効果

③ 緊急搬送時間の短縮

4車線化による**救急車両のスムーズな走行、渋滞の緩和**、及び事故等による**交通規制の減少**により、小郡第一総合病院(第二次救急医療施設)や山口市南部地域から山口県立総合医療センター(第3次救急医療施設)までの**緊急搬送時間の短縮**が期待される。

【現状】

渋滞している国道2号

(イメージ)
2車線であり、緊急車両は対向車線にはみ出し、徐行しながらの追い越しとなっている。

山口市南部地域より

事業未実施区間 L=2.8km
(防府市台道～山口市鑄銭司)

- ⊕ 三次救急医療施設
- ⊕ 二次救急医療施設
- ⊕ その他医療施設

凡例

4車線以上 4車線未満	高規格道路
4車線以上 4車線未満	直轄国道
4車線以上 4車線未満	4車線化事業中
4車線以上 4車線未満	補助国道
4車線以上 4車線未満	主要地方道
4車線以上 4車線未満	一般県道
4車線以上 4車線未満	その他道路

至
岩
国
市

防府山口市域の将来像、期待される整備効果

【防府山口市域の将来像】

- ◆地域の防災体制の整備など、県民の生命や財産を災害から守るための取組の進展 <出典：やまぐち維新プラン(H30.10)>
- ◆安全安心で快適に暮らせるまち <出典：山口市総合計画(H30.3)>
- ◆各輸送拠点と防災拠点や医療拠点をつなぐ幹線道路ネットワークの構築 <出典：防府市総合計画(R3.3)>



期待される整備効果

④災害や事故時における早期の交通機能の確保

4車線化により、通行帯を確保しながら並行して復旧作業を行えるようになるため、**早期に交通開放することが可能**となり、緊急車両の通行や物資の輸送が速やかに行えるようになる等、早期の交通機能の確保が期待される。



事故状況(撮影日:H28.7)
2車線であることから、災害時の交通開放に時間を要する。

期待される整備効果

⑤災害等いざというときのための信頼できる代替路の確保

道路の整備により、**山陽自動車道**が通行止めとなっても、**国道2号**が**代替の道路**となり、**円滑な交通が確保される**ことが期待される。(ダブルネットワークの強化)



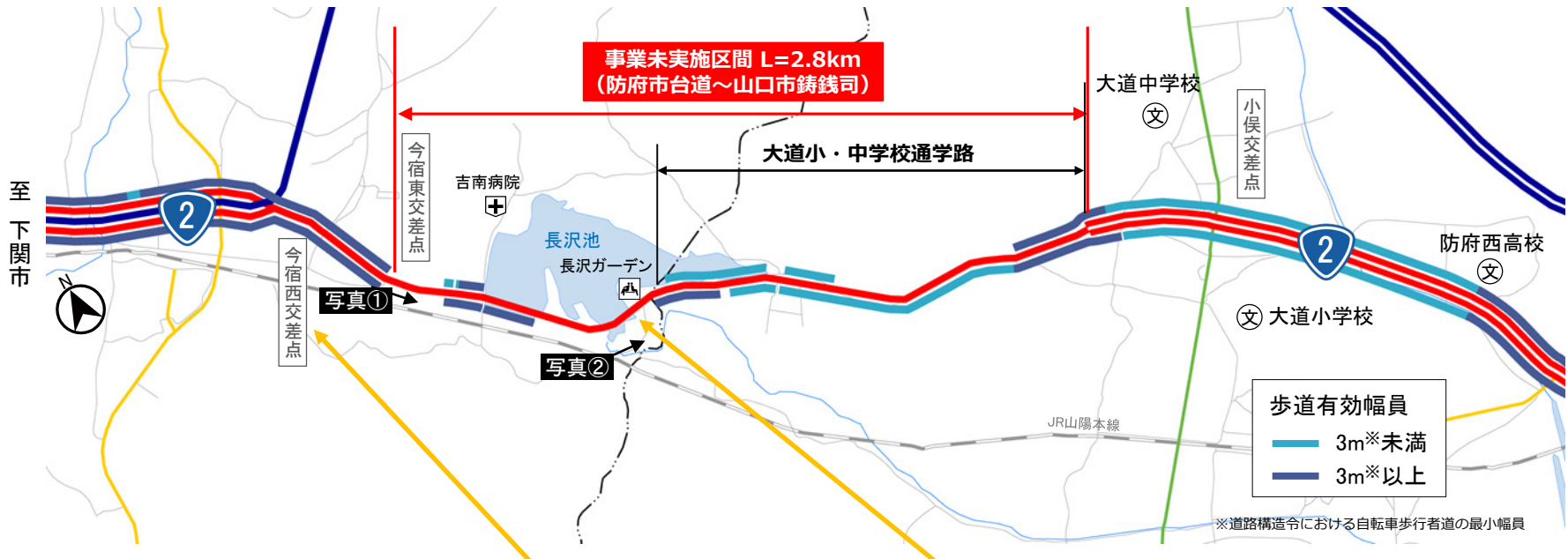
令和3年2月の山陽自動車道の通行止めの際は、国道2号は、上下線ともに、周南市・防府市境を先頭に**約20kmの渋滞**が発生。

令和3年の事故では、**約1時間30分の全面通行止め**が発生。県道を迂回すれば、国道2号に比べ**約10kmの増**。

防府山口市域の将来像、期待される整備効果

【防府山口市域の将来像】

- ◆ 県民が安心・安全に暮らせる快適な社会づくり <出典：やまぐち維新プラン(H30.10)>
- ◆ 安全安心で快適に暮らせるまち <出典：山口市総合計画(H30.3)>
- ◆ 安全・安心を第一にしたまちづくり <出典：防府市総合計画(R3.3)>



期待される整備効果

⑥ 交通事故の減少

今宿西交差点は、車線絞り込みによって急ブレーキが多く、事故危険区間に指定されている。道路の整備により、**交通事故が減少し、地域の安全性向上**が期待される。



車線減少箇所の車線変更状況(撮影日:R4.6)
検討区間では、H29～R2の4年間で**死傷事故が47件**発生しており、約7割が駐・停車中車両への追突事故である。

期待される整備効果

⑦ 歩行者・自転車通行の安全性向上

未実施区間周辺には、病院や学校が立地しており、歩行者や自転車交通があることから、歩行空間等の整備により、**地域の安全性向上**が期待される。



写真② 歩道未整備区間 (R3.10撮影)
長沢池付近では両側とも歩道がない区間があり、H18～R2の15年間で**自転車関連事故が2件、人対車両事故が3件**発生している。

至 岩国市

防府山口市域の将来像、期待される整備効果

【防府山口市域の将来像】

- ◆国内外からの多くの観光客が山口を満喫 <出典：やまぐち維新プラン(H30.10)>
- ◆地域の魅力があふれる産業と観光のまち <出典：山口市総合計画(H30.3)>
- ◆恵まれた資源を活かした交流拡大 <出典：防府市総合計画(R3.3)>

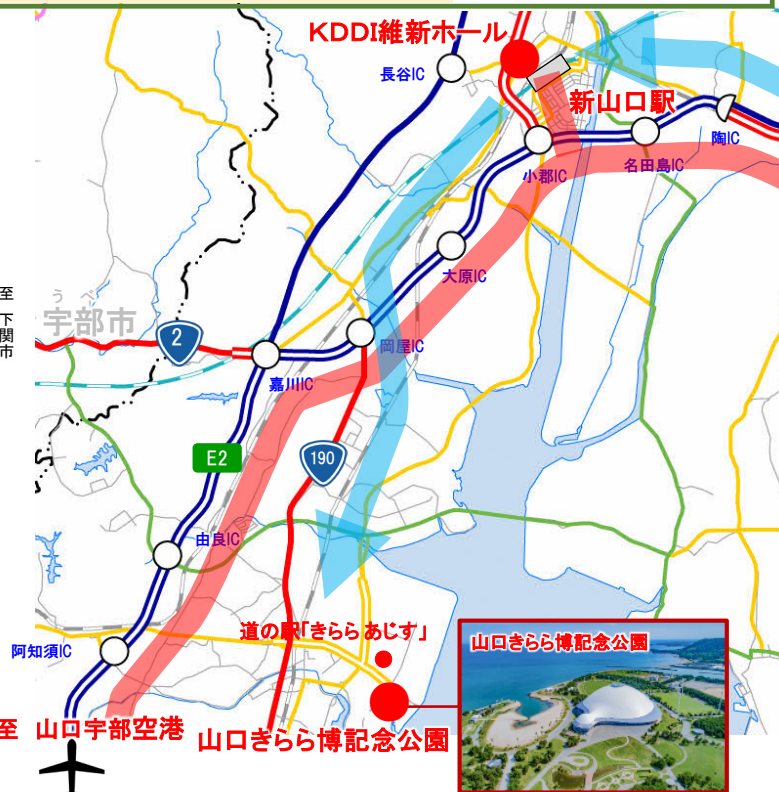
期待される整備効果

⑨ 大型イベント会場への 定時性の向上

道路の整備により、渋滞が緩和されれば、**KDDI維新ホール**や**山口きらら博記念公園**等、**大型イベント会場への定時性の向上**が期待される。また、イベント後に周辺観光地を周遊する観光客の増加も期待される。



防府山口市域にはKDDI維新ホールや山口きらら博記念公園等、大型イベント会場が存在する。



大型イベント会場へのルート

事業未実施区間 L=2.8km (防府市台道～山口市鑄銭司)

期待される整備効果

⑧ 広域交通拠点から防府市内の 観光地への定時性の向上

道路の整備により、渋滞が緩和されれば、**新山口駅**や**山口宇部空港**など**広域交通拠点**からの防府市内の観光地への**定時性の向上**が期待される。また、それに伴う、観光客の増加も期待される。



防府市内には、山口県内観光客数第二位の「防府天満宮をはじめとした観光地が多数存在する。」



R1観光客:67.6万人

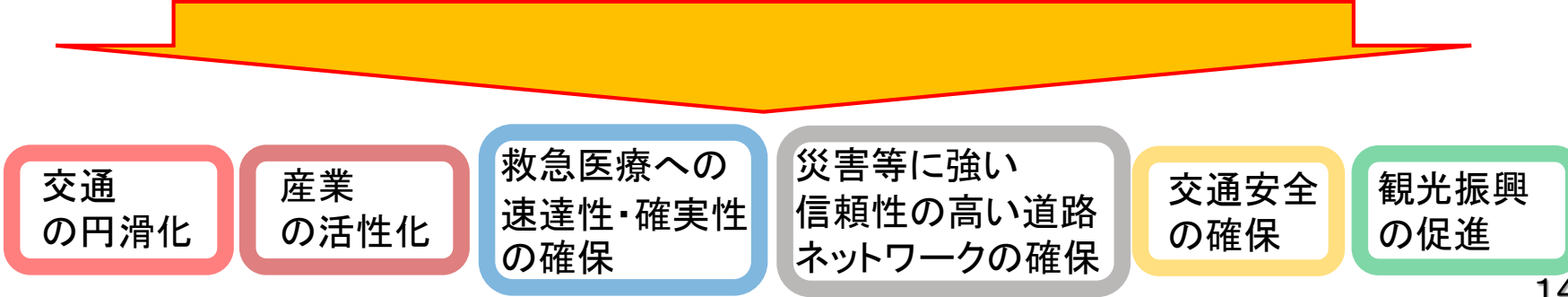
政策目標(案)の設定

◆地域の状況や将来像、及び期待される整備効果を踏まえ、当該地域の政策目標(案)を以下に設定

期待される整備効果

産業	医療	防災	安心・安全	観光
<p>①産業振興を支援するネットワークの強化 道路の整備により、渋滞が緩和し、ジャストオンタイムで稼働するマツダ(株)防府工場への自動車部品輸送の定時性が向上する等、産業振興を支援するネットワーク強化が期待される。</p> <p>②企業誘致の促進、雇用創出の拡大 道路の整備により、交通便利性など企業の立地環境が向上すれば、企業誘致の促進に繋がり、雇用創出の拡大など地域の活性化が期待される。</p>	<p>③緊急搬送時間の短縮 4車線化による救急車両のスムーズな走行、渋滞の緩和、及び事故等による交通規制の減少により、小郡第一総合病院(第二次救急医療施設)や山口市南部地域から山口市立総合医療センター(第3次救急医療施設)までの緊急搬送時間の短縮が期待される。</p>	<p>④災害や事故時における早期の交通機能の確保 4車線化により、通行帯を確保しながら並行して復旧作業を行えるようになるため、早期に交通開放することが可能となり、緊急車両の通行や物資の輸送が速やかに行えるようになる等、早期の交通機能の確保が期待される。</p> <p>⑤災害等いざというときのための信頼できる代替路の確保 道路の整備により、山陽自動車道が通行止めとなっても、国道2号が代替の道路となり、円滑な交通が確保されることが期待される。(ダブルネットワークの強化)</p>	<p>⑥交通事故の減少 今宿西交差点は、車線絞り込みによって急ブレーキが多く、事故危険区間に指定されている。道路の整備により、交通事故が減少し、地域の安全性向上が期待される。</p> <p>⑦歩行者・自転車通行の安全性向上 未実施区間周辺には、病院や学校が立地しており、歩行者や自転車交通があることから、歩行空間等の整備により、地域の安全性向上が期待される。</p>	<p>⑧広域交通拠点から防府市内の観光地への定時性の向上 道路の整備により、渋滞が緩和されれば、新山口駅や山口宇部空港など広域交通拠点からの防府市内の観光地への定時性の向上が期待される。また、それに伴う、観光客の増加も期待される。</p> <p>⑨大型イベント会場への定時性の向上 道路の整備により、渋滞が緩和されれば、KDDI維新ホールや山口きらら博記念公園等、大型イベント会場への定時性の向上が期待される。また、イベント後に周辺観光地を周遊する観光客の増加も期待される。</p>

政策目標(案)



交通の円滑化

産業の活性化

救急医療への速達性・確実性の確保

災害等に強い信頼性の高い道路ネットワークの確保

交通安全の確保

観光振興の促進

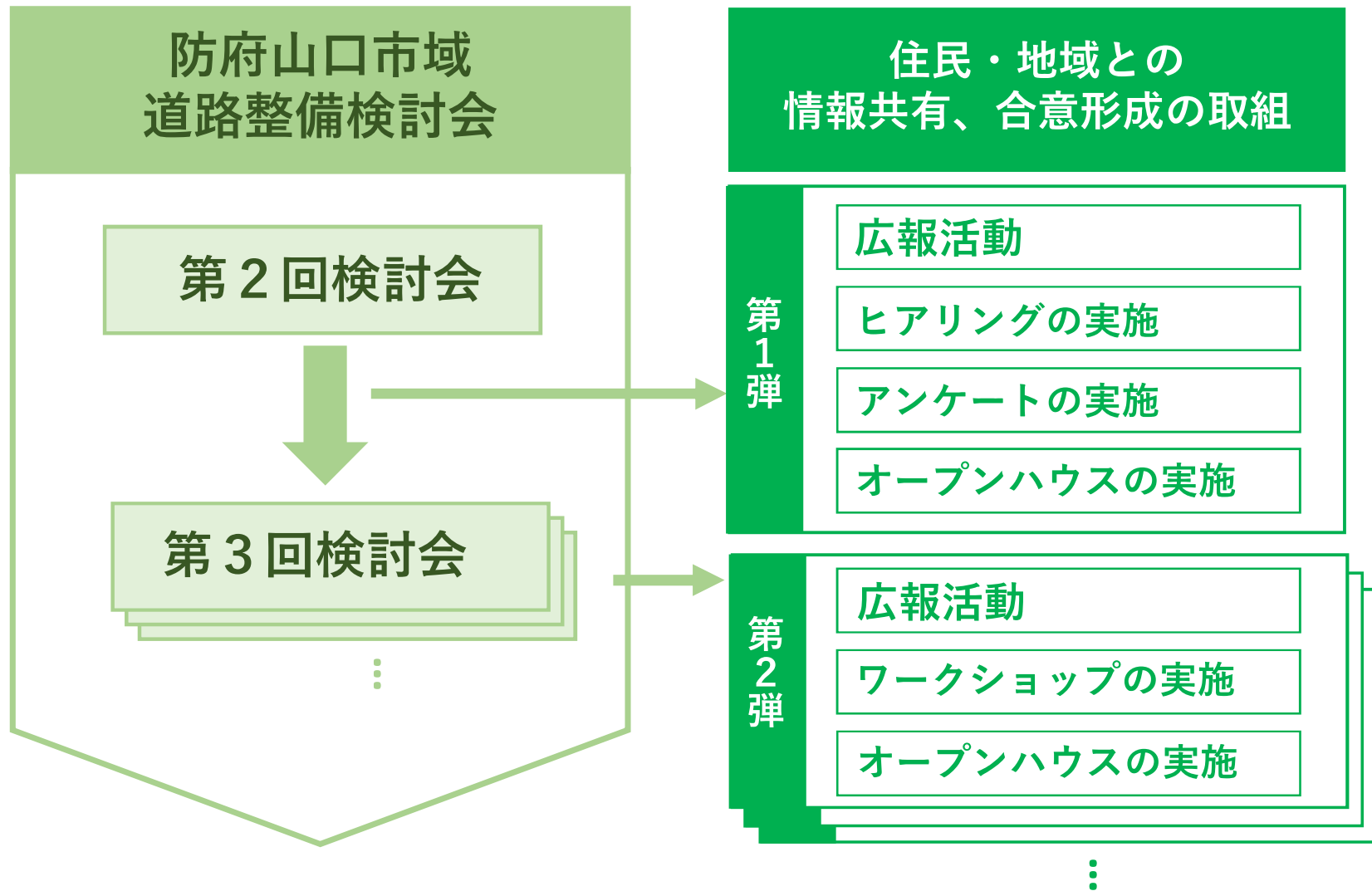
第2回

国道2号防府山口市域道路整備検討会

(地域との合意形成の取組・アンケート実施について)

令和4年9月13日
山口市・防府市

住民・地域との情報共有、合意形成の取組



住民・地域との情報共有、合意形成の取組

< 広報活動 >

■ 広報紙での記事掲載を行い検討状況を周知

山口市・防府市の広報紙に検討状況を掲載



■ ホームページを作成し、検討状況を周知

山口市・防府市のホームページに検討状況を掲載

< 合意形成 >

■ アンケートの実施

別紙資料のとおり

■ ワークショップの実施

地元住民を対象としたワークショップを開催する。

■ ヒアリングの実施

沿道の企業や道路利用者等へヒアリング調査を実施する。

■ オープンハウスの実施

検討会の検討状況について情報提供し
市民等の意見把握を行う。



意見聴取（アンケート）の基本方針・手法・対象者

■意見聴取の基本方針

把握する意見
・ 防府市台道～山口市鑄銭司間の道路整備に期待すること（政策目標）
・ 道路の利活用に向けたアイデアや配慮事項の把握

■意見聴取の手法と対象者

対象者		調査方法	調査予定数
地域住民	山口市鑄銭司地域住民（全世帯）	住民への直送	1,000
	防府市大道地域住民（全世帯）	住民への直送	2,000
企業および団体	県内外の関係企業	職員への配布	2,000
道路利用者	道の駅・大規模小売店舗利用者等	各施設に常設	2,000
自治体および団体	県・市・消防・商工会議所等	職員への配布	1,000

※QRコードからのWEB経由でも回答受付

8,000

政策目標についての質問

道路整備を検討するにあたり、地域の将来も踏まえどのような道路にすべきと思われますか。

5段階評価

(そう思う・ややそう思う・どちらとも言えない・あまりそう思わない・そう思わない) で回答

【質問①】 渋滞や交通事故が少なく、目的地に早く確実に到達できる快適な道路

【質問②】 周辺に立地する企業や事業所からの輸送を円滑化する道路

【質問③】 第3次救急医療施設である山口県立総合医療センターへ早く確実に患者を搬送できる道路

【質問④】 災害時に山陽自動車道が通行止めになっても、代替の道路となる道路

【質問⑤】 歩行者や自転車の安全性が確保され、安全安心に利用できる道路

【質問⑥】 新山口駅や山口宇部空港から県内観光地に早く確実に到達できる道路

道路の利活用に向けたアイデア

【自由記入】

(案)

国道2号(防府市台道～山口市鑄銭司間)における道路の検討に関する

アンケート調査

実施中

実施期間

令和4年10月 日 () まで

アンケート調査に御協力をお願いします！

下の葉書を切り取って御投函ください！

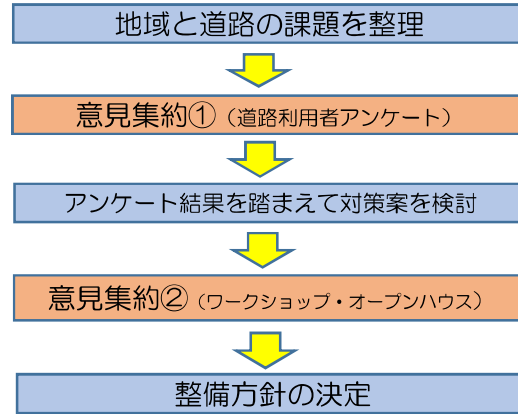
WEBでも簡単に御回答いただけます！



アンケート調査の目的

企業・事業所の生産性向上や地域住民の安全・安心の確保等を主な目的として、国道2号(防府市台道～山口市鑄銭司間)の整備方針を検討しています。

今回のアンケートは、地域の皆様や道路利用者の方々に御意見を伺い、整備方針に反映させるためのアンケートです。地域の将来のために、どのような道路にすべきか、このアンケートを通じて、計画づくりにぜひ御参加ください。



現在はこの段階です



1 5 4 8 7 9 0

山口県山口市亀山町2-1
都市整備部道路河川建設課
国道2号アンケート係 行



■あなた自身のことについて教えてください

- 住所：() 県 () 市 地区名 ()
- 性別および年齢： 男 ・ 女 (歳代)

■計画対象区間の御利用状況についておたずねします。
【該当する番号を御記入ください】

- 利用頻度：①週4以上②週1～3③月1～3
- ④ほとんど利用しない
- ⑤利用したことがない

- 交通手段：①乗用車②トラック③公共交通
- ④バイク⑤自転車⑥徒歩

- 利用目的：①通勤②通学③買い物④送迎⑤仕事
- ⑥通院⑦レジャー⑧その他

■計画対象区間を利用される場合の主な目的地についておたずねします。【該当する番号を御記入ください】

- ①山口市 ②宇部市 ③防府市 ④周南市
- ⑤上記以外の県内市町
- ⑥福岡県 ⑦広島県
- ⑧上記以外の県外



より安全でより使いやすい道路とするため、6つの目標を設定して調査検討をすすめています

- 交通の円滑化 : 渋滞や交通事故が少なく、目的地に早く確実に到達できるような、快適な道路をめざします
- 産業の活性化 : 4車線化により渋滞を緩和し、国道2号沿線に立地する企業・事業所からの円滑な輸送が可能な道路をめざします
- 救急医療への速達性・確実性の確保 : 防府市にある山口県立総合医療センターへのアクセス性を高め、救急搬送時間の短縮はもちろん、誰もが病院に行きやすい道路をめざします
- 災害等に強い信頼性の高い道路ネットワークの確保 : 災害時に防府市と山口市を結ぶ山陽自動車道が通行止めになっても、代替の道路として十分円滑な交通を確保できる道路をめざします
- 交通安全の確保 : 地域住民が安全・安心に通行できるように歩道を整備し、沿線の小中学校や高校へ徒歩や自転車で安全・安心に通学できる道路をめざします
- 観光振興の促進 : 新山口駅や山口宇部空港から、防府市内をはじめとする県内観光地へのアクセス性を高め、観光地へ早く確実に到達できる道路をめざします

計画概要

みなさんの考える国道2号について、アンケートにご協力をお願いします。

国道2号はたくさんの役割・機能を果たし、みなさんの生活を支えています。
 このアンケートは、**調査対象区間**の利便性の向上を目指した大切な調査です。
 みなさんの利用する国道2号の課題や将来像について、貴重なご意見をご回答ください。



道路整備を検討するにあたり、地域の将来も踏まえたような道路にすべきと思われますか。

5段階評価（そう思う・ややそう思う・どちらとも言えない・あまりそう思わない・そう思わない）に「○」で御回答ください。

【質問①】 渋滞や交通事故が少なく、目的地に早く確実に到達できる快適な道路

そう思う・ややそう思う・どちらとも言えない・あまりそう思わない・そう思わない

【質問②】 周辺に立地する企業や事業所からの輸送を円滑化する道路

そう思う・ややそう思う・どちらとも言えない・あまりそう思わない・そう思わない

【質問③】 第3次救急医療施設である山口県立総合医療センターへ早く確実に患者を搬送できる道路

そう思う・ややそう思う・どちらとも言えない・あまりそう思わない・そう思わない

【質問④】 災害時に山陽自動車道が通行止めになっても、代替の道路となる道路

そう思う・ややそう思う・どちらとも言えない・あまりそう思わない・そう思わない

【質問⑤】 歩行者や自転車の安全性が確保され、安全安心に利用できる道路

そう思う・ややそう思う・どちらとも言えない・あまりそう思わない・そう思わない

【質問⑥】 新山口駅や山口宇部空港から県内観光地に早く確実に到達できる道路

そう思う・ややそう思う・どちらとも言えない・あまりそう思わない・そう思わない

上記①～⑥の他に「このような道路にすべき」というアイデア等がありましたら御記入ください

○アンケートのお問い合わせ先 : 山口市都市整備部道路河川建設課 083-934-2711
 防府市土木都市建設部 道路課 0835-25-2416